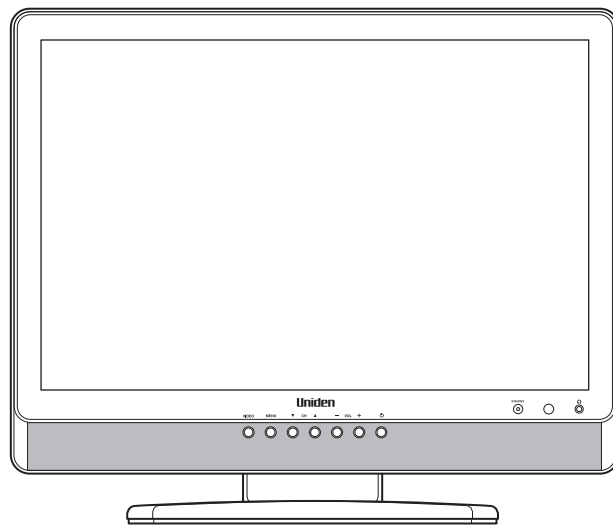
液晶テレビ Uniden

取扱説明書

地上デジタル液晶テレビ

品番　TL19CX2

はじめに

準備する

テレビを見る

各種設定のしかた

ご参考

このたびはユニデン液晶テレビをお買い上げいただきありがとうございます。

■ 製品をご使用になる際は必ず「安全上のご注意」をお読みください。
安全のための注意事項をお守りいただけない場合は、お使いになるかたや他の人への危害や物的損害の原因となることがあります。

■ この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
よくお読みの上、安全にお使いください。

最新の商品情報やサポート情報はホームページにてご覧いただけます。http://www.uniden.jp/

ご使用になる前に

本機で受信できるテレビ放送について

地上デジタル放送

地上波の UHF 帯の電波を使って行われるデジタル放送です。高品質（ゴーストや雑音のない）・高画質の映像を楽しむことができます。関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は 2006 年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は 2011 年 7 月までに、BS アナログテレビ放送は 2011 年までに終了することが国の法令によって定められています。

地上アナログ放送

現在行われている VHF/UHF 帯のテレビ放送です。2011 年 7 月 24 日までに放送を終了することが国の法令によって定められています。

地上デジタル放送の受信方法について

アンテナでご視聴の場合

地上デジタル放送を受信するためには UHF アンテナが必要です。現在お使いのアンテナが UHF または UHF/VHF 混合アンテナの場合はそのまま使用できる可能性があります。また、UHF アンテナの向きの変更が必要な場合があります。

詳細については、お近くの電器店やアンテナ設置業者にご相談ください。
詳しくは 18 ページをご覧ください。

ケーブルテレビでご視聴の場合

ご契約のケーブルテレビ会社にご相談ください。詳しくは 19 ページをご覧ください。

マンションなど集合住宅の場合

お住まいの共聴設備が地上デジタル放送に対応しているか、管理組合または管理会社等にお問い合わせください。

B-CAS カードについて

デジタル放送を見るには本機に付属の B-CAS（ビーキャス）カードが必要です

■ B-CAS カードの取り扱いについて

- カードの説明書の文面をよくお読みください。
- カードを挿入しないと、著作権保護されたデジタル放送は視聴することができません。
- カードは常時挿入しておいてください。
- カードを紛失、破損したり、盗難にあったときは、㈱ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターにご連絡ください。（カード台紙に記載されています。）

もくじ

もくじ（つづき）

第5章　ご参考

はじめに

第１章

はじめに

安全上のご注意

製品を正しく安全にご使用いただくために、ご使用の前に必ず次の事項をお読みください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警 告	**火災、感電などにより死亡や大けがを負うおそれがある内容を示しています。**
⚠注 意	**けがをしたり周囲の物品に損害を与えるおそれのある内容を示しています。**

絵表示の説明

注意をうながす記号	行為を禁止する記号	行為を指示する記号
一般的注意	禁　止　分解禁止　ぬれ手禁止	一般的指示　電源プラグを抜く

⚠警 告

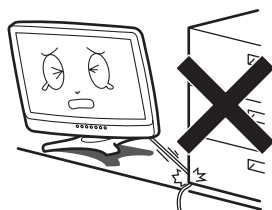
電源コードを傷つけないでください
火災・感電などの原因となります

・設置時に、製品と壁や床などの間に挟み込んだりしないでください。

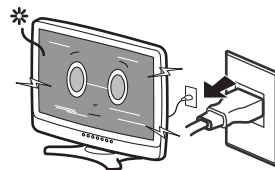
・電源コードを加工したり、傷つけたりしないでください。

・重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。

・熱器具に近づけたり、加熱したりしないでください。

・電源コードを抜く時は、必ずプラグを持って抜いてください。

破損したり、異常が発生した場合は
電源プラグを抜いてください
火災・感電などの原因となります

・落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源を切り、電源プラグを抜いてください。

・煙やにおい、音などの異常が発生したら、電源を切り、電源プラグを抜いてください。

安全上のご注意（つづき）

⚠警告

電源コードは必ず付属の電源コードを使用し、他の電源コードを使用しないでください
また、本機の電源コードを他の製品に使用しないでください

注　意

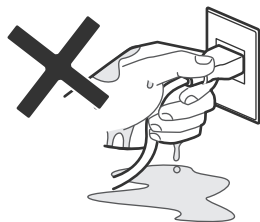
電源プラグにホコリなどが付着しているときは、電源プラグを抜いて乾いた布で取り除いてください

・そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

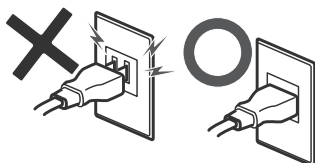
ほこりを取る

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください

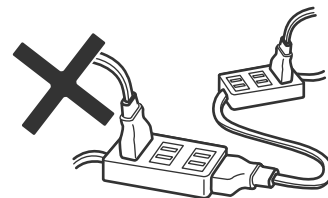
・感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

電源プラグは確実に差し込んでください

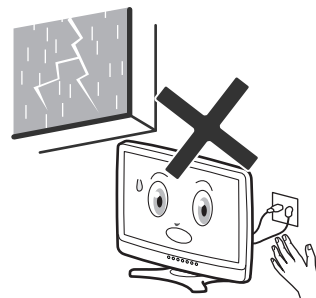
・差し込みが不完全な場合は発熱したり、ほこりが付着して火災・感電の原因となることがあります。

確実に差し込む

タコ足配線をしないでください

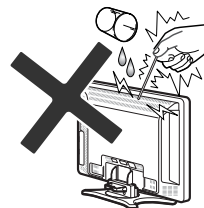
・火災や感電の原因となることがあります。

禁　止

雷が鳴り出したら、テレビやアンテナ線、電源プラグに触れないでください

・感電の原因となります。

接触禁止

内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり入れたりしないでください

・火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐ電源を切り、電源プラグを抜いてください。

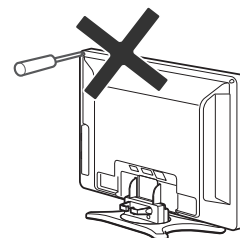
禁　止

本機の裏ぶたをはずしたり、改造したりしないでください

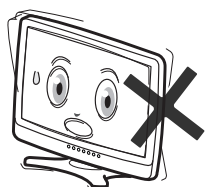
・内部には電圧の高い部分があるため、触ると感電の原因となります。

分解禁止

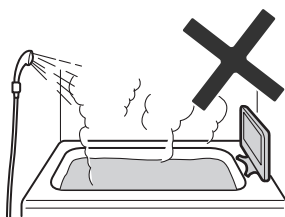
安全上のご注意（つづき）

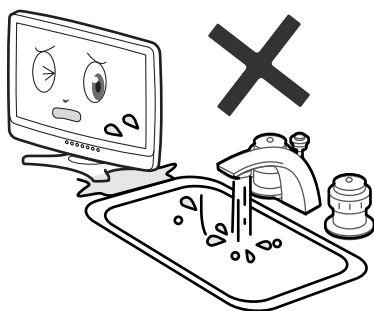
はじめに

⚠警告

不安定な場所に置かないでください

・落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

浴室やシャワー室では使用しないでください

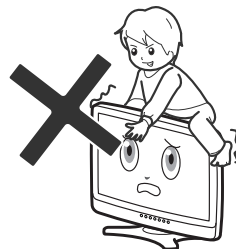
・本機は防水仕様ではありません。感電や故障などの原因となることがあります。

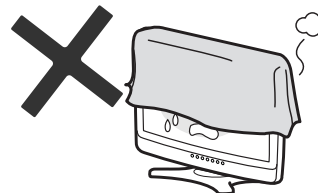
浴室での使用禁止

水滴のかかる場所や、湿気、湯気、油気、ほこりの多いところには設置しないでください

・火災、感電の原因となることがあります。

火のついたろうそく、蚊取り線香、タバコなどの火気や、揮発性の引火物を近づけないでください

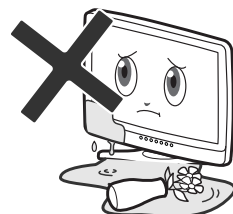
・変形や火災のおそれがあります。

重いものを置いたり、乗ったりしないでください

・落下・転倒してけがの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

風通しの悪い所、密封した箱の中に置いたり、布などをかけないでください

・内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。

近く、または上に花瓶など水の入ったものを置かないでください

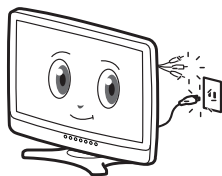
・水がこぼれるなどして中に入ると、火災、感電の原因となります。

水ぬれ禁止

安全上のご注意（つづき）

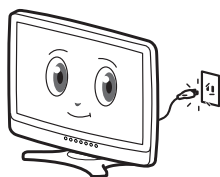
⚠注 意

移動するときは、接続されている線をすべてはずしてください

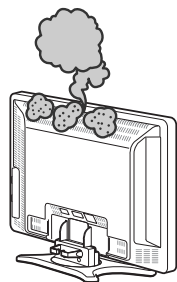
・コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

接続線をはずす

お手入れや長時間使用しないときは電源プラグを抜いてください

・感電や火災の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

通風孔に付着したほこりやゴミはこまめに取り除いてください

・火災の原因となることがあります。

ほこりをとる

液晶画面に衝撃を与えないでください

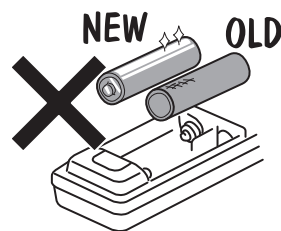
・液晶パネルが割れて、けがの原因となることがあります。

禁　止

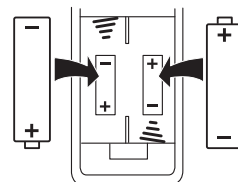
■リモコンの取り扱いについて

指定以外の電池を使ったり、新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください

・破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

禁　止

電池の＋と－の向きを正しく入れてください

・破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

表示通りに入れる

アルカリ電池の液が漏れた場合は素手で触らないでください

・皮膚の炎症、失明やけがの原因となることがあります。

接触禁止

※使用済み電池の処分について

・使用済みの電池は地域の規則に従って処分してください。

はじめに

使用上のお願い

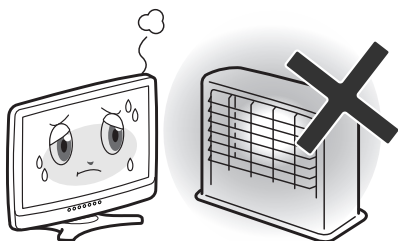
守っていただきたいこと

国外では使用できません

・この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送形式、電源電圧が異なりますので使用できません。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

設置について

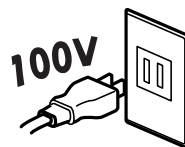
・発熱する機器の近くには本機を置かないでください。

・本機の上には物を置かないでください。

・不安定な場所や湿気の多い所に置かないでください。

・窓際に置く場合は、雨や雪などで濡らさないようご注意ください。

電源・電圧について

・指定（AC100V 50/60Hz）以外の電源は使わないでください。
指定以外の電源を使用した場合は故障の原因となります。

・電源コードは、必ず付属品をお使いください。

アンテナについて

・妨害電波の影響を避けるため、交通の頻繁な自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。
万一、アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。

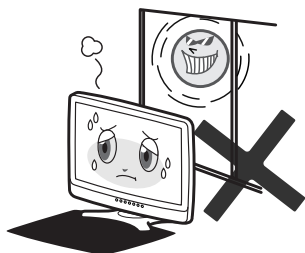
・アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となります。

・アンテナは風雨にさらされるため、定期的な点検・交換を心がけてください。特に、ばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが痛みやすくなります。映りが悪くなったときは、設置店へお問い合わせください。

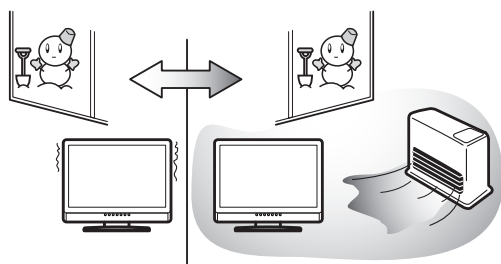
使用上のお願い（つづき）

守っていただきたいこと（つづき）

直射日光や熱気を避けてください

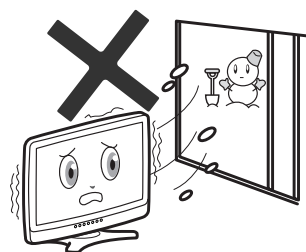
・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

・窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置したりすると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。

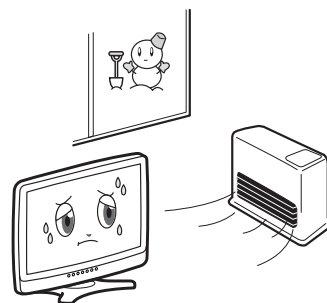
急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください

・急激な温度変化が起こる部屋（場所）でのご使用は画面の表示品位が低下する場合があります。

低温になる部屋（場所）でのご使用の場合

・ご使用になる部屋（場所）の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが故障ではありません。常温に戻れば回復します。

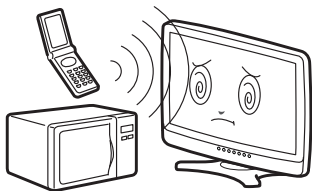
・低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障の原因となります。

使用温度：0℃～ +40℃

結露について

・本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などでは、表面や内部に結露（水滴が付着）が発生することがあります。そのままご使用になると故障の原因となりますので、結露が起きた時は結露がなくなるまで電源プラグをコンセントに接続しないでください。

使用上のお願い（つづき）

守っていただきたいこと（つづき）

電磁波妨害に注意してください

・本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

キャビネットのお手入れのしかた

・お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

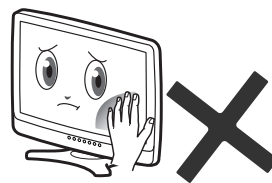
・汚れはネルなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。

・汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。

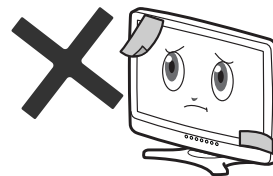
・キャビネットにはプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどで拭いたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。

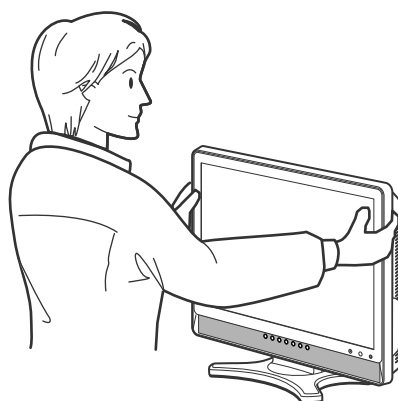
・殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗装がはげるなどの原因となります。

取り扱い上のご注意

・液晶パネルを強く押したりしないでください。割れることがあり危険です。
また、落としたり強い衝撃をあたえないようにしてください。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

・キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

はじめに

第２章

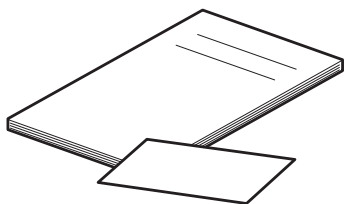
準備する

付属品

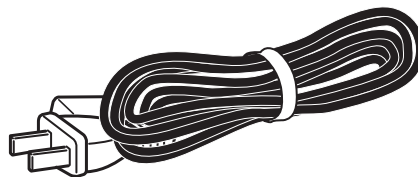
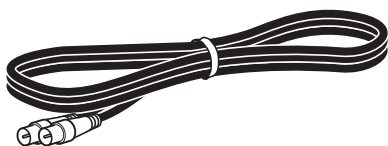
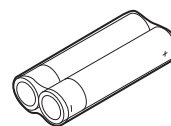
下記の付属品がすべて揃っているかご確認ください。

リモコン（1 個）

B-CAS（ビーキャス）カード（1 枚）

※本機には青色の B-CAS カードが
付属しています。
（必ず本機付属のものをお使いください。）

取扱説明書・保証書（各 1 部）

※保証書にはお買い上げ日をご記入の
うえ、大切に保管してください。

電源コード（1 本）

アンテナケーブル（1 本）

単 4 乾電池（2 個）

※この取扱説明書のイラスト・画面などは説明のため、実際のものとは異なる場合があります。

各部のなまえ（リモコン）

音声切換ボタン ☞ 43ページ
音声（主・副）を切り換えます。

入力切換ボタン ☞48ページ
映像・音声入力を切り換えます。

映像切換ボタン ☞44ページ
見ている番組がマルチビュー放送の
場合、ボタンを押すごとに映像が
切り換わります。

オフタイマーボタン ☞47ページ
設定した時間経過後に電源が切れます。

放送切換ボタン ☞30ページ
地上放送を見るとき押します。
押すたびに地上アナログ・地上デジタル
放送が交互に切り換わります。

音量（＋/－）ボタン ☞30ページ
音量を調節します。
押し続けると連続で変えられます。

消音ボタン ☞30ページ
一時的に音を消します。
もう一度押すと解除されます。

番組表ボタン ☞ 31ページ
電子番組表を表示します。

戻るボタン
電子番組表やメニュー設定画面などで
前の画面に戻るときに使います。

決定ボタン ☞ 52ページ
メニュー設定で選択項目を確定する
ときに使います。

字幕ボタン ☞42ページ
字幕の表示、非表示を切り換えます。

電源ボタン ☞30ページ
電源を入/切します。

画面表示ボタン ☞41ページ
チャンネル・音声モード・
時刻表示を入／切します。

画面メモボタン ☞46ページ
ボタンを押したときに表示されて
いた映像を静止画として記憶し、
画面に表示します。

番組情報ボタン ☞46ページ
地上デジタル放送において
現在視聴している番組の
詳細情報を表示します。

数字ボタン ☞30ページ
チャンネルを選局するときに
使います。

選局ボタン ☞30ページ
チャンネルを選択します。
押し続けると連続で変えられます。

メニューボタン ☞52ページ
メニュー設定画面を表示させます。

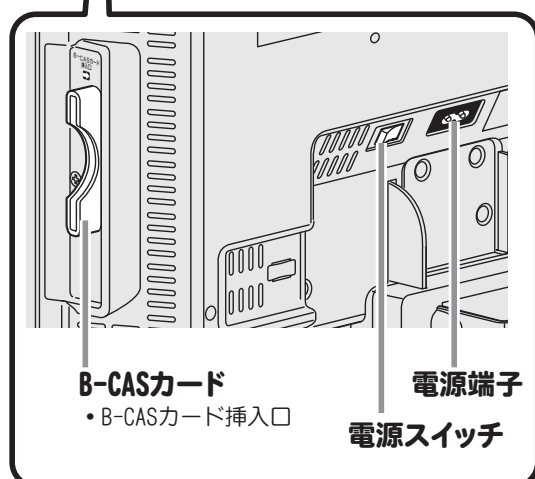
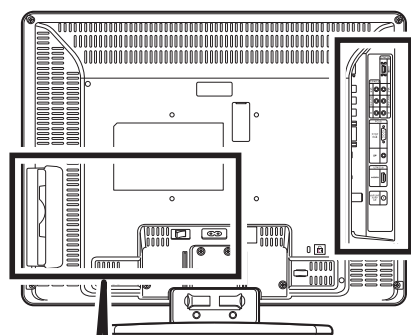
カーソルボタン ☞52ページ
メニュー設定項目を選択する
ときに使います。

ワイドボタン ☞45ページ
テレビ画面をパノラマ表示や
ズーム表示などに切り換えます。

各部のなまえ（本体）

本体/リモコンボタン対応表

本体のボタンはリモコンの各ボタンと同じはたらきをします。

本 体	− VOL +	MENU	⏻	VIDEO	▼ CH ▲
リモコン	＋ 音量 −	メニュー	電源	入力切換	▲ 選局 ▼

ビデオ1入力
- D5映像入力
- ビデオ入力
- 左(モノラル)音声入力
- 右音声入力

ビデオ2入力
- ビデオ入力
- 左(モノラル)音声入力
- 右音声入力

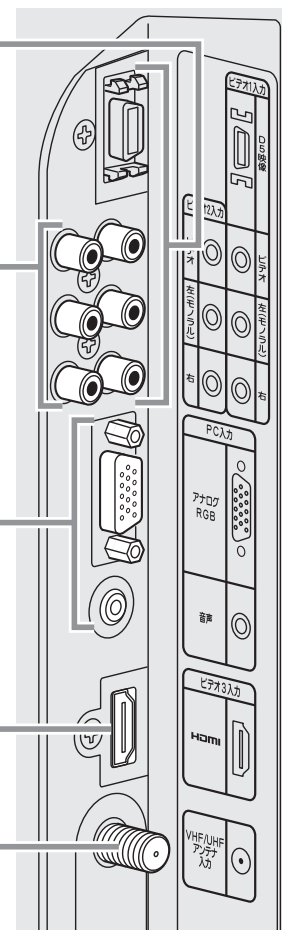
PC入力
- アナログRGB入力
- 音声入力

ビデオ3入力
- ビデオ入力(HDMI)

VHF/UHFアンテナ入力
- 地上デジタル・地上アナログアンテナ接続端子

B-CASカード
- B-CASカード挿入口

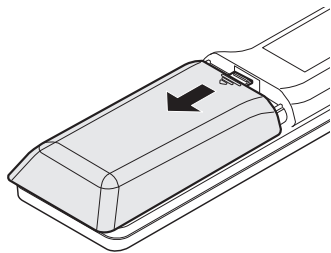
電源端子

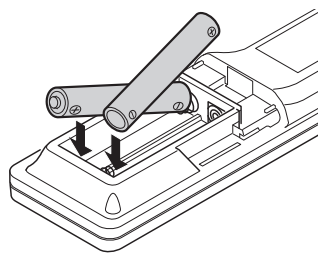
電源スイッチ

準備する

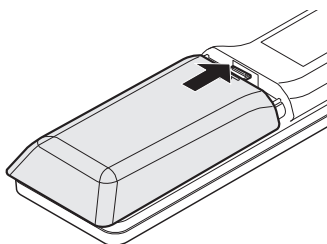
リモコンの準備と使いかた

乾電池の入れかた

1 カバーをあけます

⩸ の部分を押しながら、カバーを
下方にスライドさせます。

2 乾電池を入れます

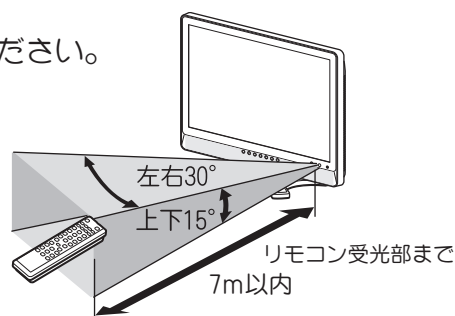
単 4 乾電池 2 本をケース内の表示通りに
入れてください。
（⊕、⊖の位置を正しく入れてください。）

3 カバーを閉めます

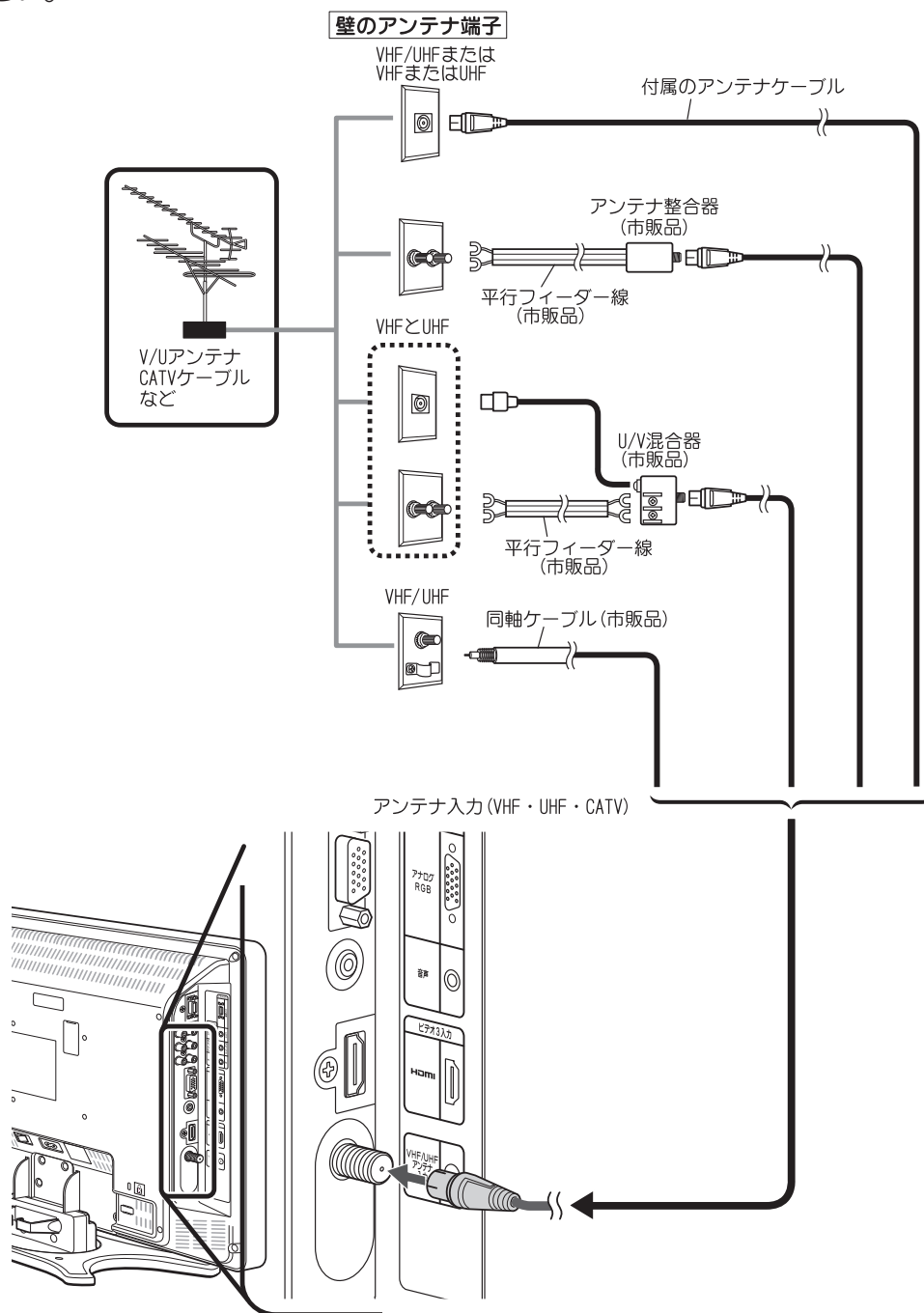
パチンと音がするまでカバーを
上方へスライドさせます。

使いかた

- リモコンの先端部を、本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
  リモコンの操作範囲は本体正面よりおよそ 7 メートル以内で、
  本体正面より左右 30° 以内、上下 15° 以内です。
- リモコン操作でテレビが動作しない場合（テレビ本体の
  ボタンでは動作する）は、リモコンの乾電池寿命が
  考えられます。新しい電池に交換してください。

左右30°
上下15°
リモコン受光部まで
7m以内

- リモコンを直射日光の当たる場所に放置したり、取り付けないでください。
  熱により変形したり、誤動作する場合があります。

- 本体のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっているとリモコン操作がしにくくなります。
  照明またはテレビの向きを変えるか、リモコン受光部に近づけて操作してください。
- リモコンに強い衝撃を与えないでください。
  また、水にぬらしたり温度の高いところに置かないでください。
- 使用済み電池の処分について
  使用済みの電池は地域の規則に従って処分してください。

アンテナを接続する

本機には VHF/UHF/CATV 用アンテナケーブル 1 本が付属しています。
アンテナケーブル・分配器などを使用するアンテナに応じて接続し、本機のアンテナ入力端子に接続してください。

> **ご注意**
> - 受信可能な放送はお住まいの集合住宅により異なります。詳しくは管理会社または管理組合にお問い合わせください。

※地上デジタル放送の受信レベルの確認はメニュー画面で行います（☞61 ページ）。

※ CATV 放送を受信する場合はお使いの CATV セットトップボックスの説明書に従い接続を行ってください。ご不明な点はご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

アンテナを接続する（つづき）

ご参考

● 地上デジタル放送受信アンテナについて

地上デジタル放送を受信するためには UHF アンテナが必要です（☞18 ページ）。

設置および接続が正しく行われていた場合でも、周辺に電波障害の原因となる高層建造物が建っていたり、発信基地が遠距離のため電波が弱い場合などは受信ができなかったり、特定の放送局しか受信できないなどの障害が発生することがあります。
電器店やアンテナ設置業者等にご相談の上、最良の電波状態となるようアンテナを設置してください。

地上アナログ受信用とは別に、地上デジタル受信用のアンテナを設置するときは、電器店やアンテナ設置業者等とご相談のうえ、アンテナを設置してください。

本機を設置・設定後、アンテナの受信レベルを確認することができます。
詳しくは「アンテナレベル」（☞61 ページ）をご覧ください。

画像が映らない、または乱れるなどの問題がある場合は、「地上デジタル放送が受信できないときは」（☞77 ページ）のフローチャートにしたがって、アンテナの準備や調整などを行ってください。
または、「故障かな？と思ったら」（☞78 ページ）をご覧ください。

● きれいな画像をお楽しみいただくために

安定したデジタル映像をお楽しみいただくためにはアンテナの接続状態がとても重要です。下記のようにアンテナの接続と設置を確実に行い、電波妨害を受けにくい安定した受信状態を確保してください。

・本機のVHF/UHF アンテナ入力端子への接続は、付属のアンテナ接続ケーブルまたは市販の3C-2V以上のアンテナ接続ケーブルをお使いください。
・アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。

● CATV での受信について

CATV受信にはいくつかの方式があります。本機は「同一周波数パススルー方式」および「周波数変換パススルー方式」に対応可能です。詳しくはご契約のCATV 会社にお問い合わせください。または、「地上デジタル放送が受信できないときは」（☞77 ページ）のフローチャートにしたがってお確かめください。

準備する

B-CAS カードを挿入する

地上デジタル放送を視聴するには、本機に付属の B-CAS（ビーキャス）カードが必要です。

1 B-CAS カードを取り出します

付属の B-CAS カードを台紙から取り出します。

B-CAS カードのパッケージを開封すると、パッケージに添付されている契約約款に同意したものとみなされます。開封前に必ず契約約款をお読みください。

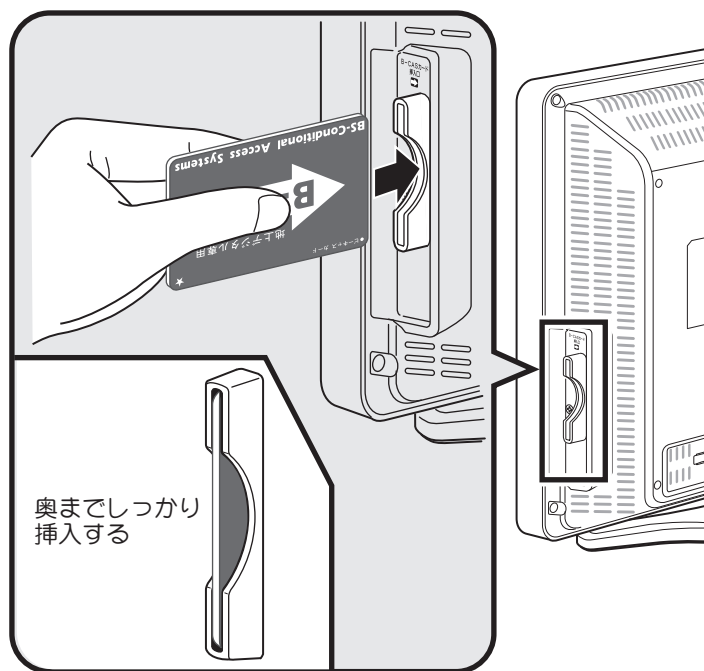
ご注意

- 本機付属の B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違えると B-CAS カードは機能しません。
- B-CAS カードは奥まで挿入してください。
- ご使用中は B-CAS カードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
- 画面にエラーメッセージが表示される場合、B-CAS カードの交換が必要となる場合があります。詳しくは 81 ページをご覧ください。

準備する

2 B-CAS カードを挿入します

背面のスロットに付属の B-CAS カードを差し込みます。

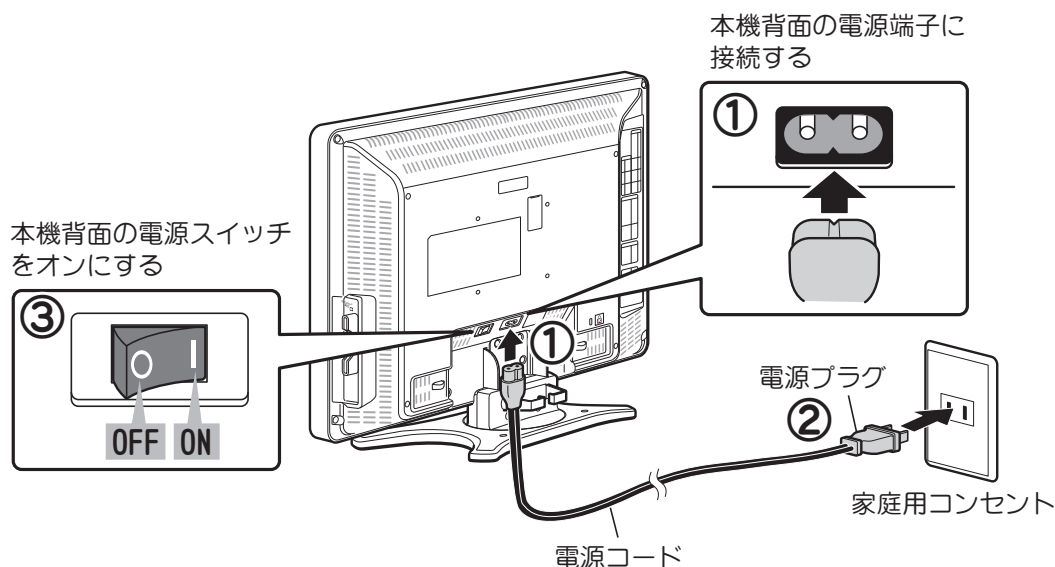
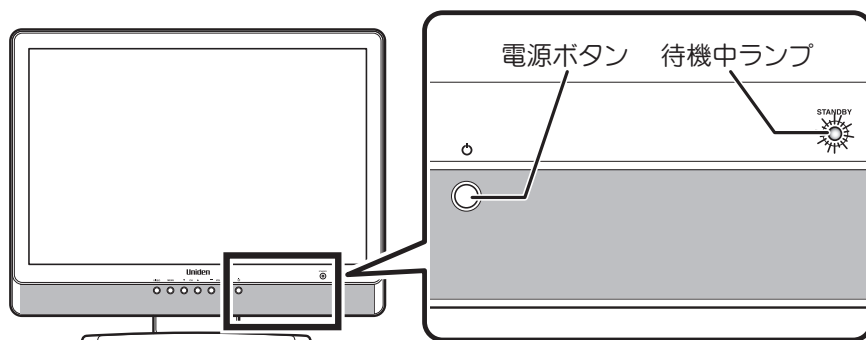
右図のように矢印の先端を先にして奥まで挿入してください。

3 B-CAS カードの登録をします

B-CAS カードが貼ってあった台紙に記載された内容に従い、B-CAS カードの登録を行ってください（登録は任意で無料です）。

■B-CAS カード取り扱い上の注意点

- 折り曲げたり、変形させない。
- 重いものを置いたり踏みつけたりしない。
- 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
- IC（集積回路）部には手をふれない。
- 分解加工は行わない。

電源コードを接続する

付属の電源コードをテレビの電源端子に差し込み、電源プラグを家庭用コンセントに接続してください。
本体背面にある電源スイッチをオンにすると、前面の待機中ランプが赤く点灯します。

（電源コードは必ず①、②の順に接続してください。）

ご注意

- 電源コードを抜き差ししやすいように、コンセントの近くに設置してください。
- 電源コードは必ず付属の電源コードを使用し、他の電源コードは使用しないでください。

準備する

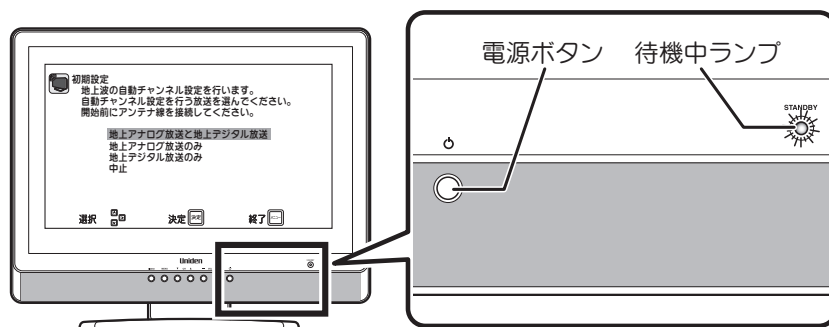
初期設定をする

はじめてテレビの電源を入れると、自動的に受信チャンネルの設定画面が表示されます。
本機は受信できるVHFとUHFの放送電波（地上デジタル放送および地上アナログ放送）を
自動的に検出し、記憶します。

ご注意

- アンテナ接続が完了するまでは本機の電源を入れないでください。アンテナを接続していない状態では、正常な初期設定ができない場合があります。

1 テレビ本体の ⏻ ボタンを押します

電源が入り、初期設定画面が表示されます。
待機中ランプは消灯します。

2 自動チャンネル設定を行います

リモコンの ∧ / ∨ **ボタン**でチャンネル設定を行う放送を選んで 決定 **ボタン**を押すと、
受信チャンネルの自動設定プログラムがスタートし、選択した放送のスキャンが行われます。

「地上デジタル放送と地上アナログ放送」……はじめに地上アナログ放送をスキャンし、完了後自動的に地上デジタル放送をスキャンします。
「地上アナログ放送のみ」…………………… 地上アナログ放送のみスキャンします。
「地上デジタル放送のみ」…………………… 地上デジタル放送のみスキャンします。
「中止」…………………………………………… 初期設定を中止します。

初期設定をする（つづき）

画面には現在のスキャン状況が％と
バーグラフで表示されます。

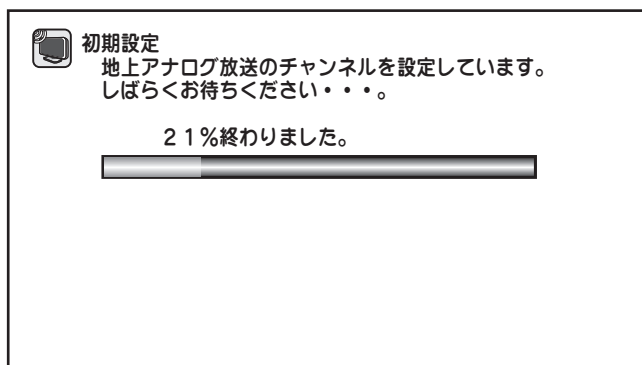
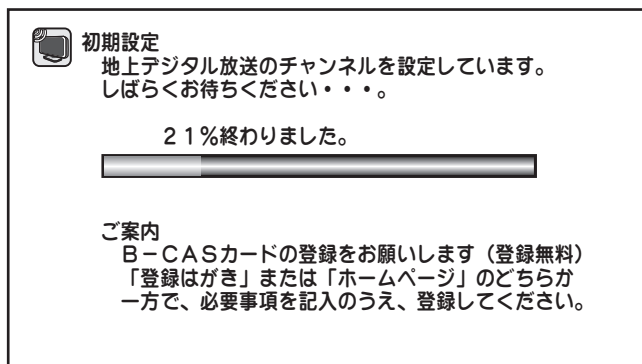
初期設定
地上アナログ放送のチャンネルを設定しています。
しばらくお待ちください・・・。

２１％終わりました。

地上アナログ放送
スキャン画面

初期設定
地上デジタル放送のチャンネルを設定しています。
しばらくお待ちください・・・。

２１％終わりました。

ご案内
Ｂ－ＣＡＳカードの登録をお願いします（登録無料）
「登録はがき」または「ホームページ」のどちらか
一方で、必要事項を記入のうえ、登録してください。

地上デジタル放送
スキャン画面

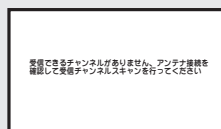
自動チャンネル設定が終了すると、自動的に
放送受信状態になり、受信した一番若い番号
のチャンネルが表示されます。

準備する

ご注意

● **受信ができない場合は…**

「受信できるチャンネルがありません。アンテナ接続を確認して自動チャンネル設定を再度行ってください。」と表示される。（地上デジタル放送が受信できない）

一番若いチャンネル番号が表示されるが、画面に何も映らない。
（地上アナログ放送が受信できない）

このような場合はアンテナの接続（☞18ページ）を確認の上、再度自動チャンネル設定を行ってください。

● 受信状態が悪いと、本来受信できる放送局も受信できない場合があります（☞19ページ）。
● 地上デジタル放送を受信するには、アンテナが地上デジタル放送に対応している必要があります（☞19ページ）。
● 画面が表示されない場合は78ページをご覧ください。

初期設定をする（つづき）

自動チャンネル割り当てについて

■地上デジタル放送

自動チャンネル設定終了後、本機の選局ポジション（1 ～ 20）には、地上デジタル放送受信結果が設定されます。設定される内容は、お住まいの地域に対応した放送局名となります。

例

北海道（札幌）

選局ポジション	放送局名
1	HBC札幌
2	NHK教育・札幌
3	NHK総合・札幌
4	放送なし（割り当てなし）
5	STV札幌
6	HTB札幌
7	TVH札幌
8	UHB札幌

※ 上記は受信状態の一例です。（2008 年 11 月現在）
お住まいの地域や設定時の電波の強弱などの
諸条件によって受信結果が異なる場合があります。

東　京

選局ポジション	放送局名
1	NHK総合・東京
2	NHK教育・東京
3	放送なし（割り当てなし）
4	日本テレビ
5	テレビ朝日
6	TBS
7	テレビ東京
8	フジテレビジョン
9	東京MXテレビ
10	放送なし（割り当てなし）
11	放送なし（割り当てなし）
12	放送大学

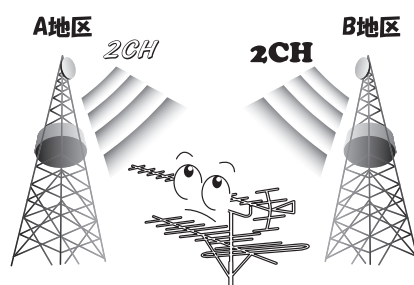
ご注意

チャンネルが自動登録されないときは…

- アンテナが地上デジタル放送に対応していないことが考えられます。
  詳しくは「地上デジタル放送が受信できないときは」（☞77ページ）をご覧ください。
- アンテナが正しく接続されているか、再度確認してください。

※初期設定画面は、お買い上げ後最初に本機の電源を「オン」にすると自動的に表示されます。
※チャンネル設定メニュー（☞61 ページ）で自動または手動設定することもできます。
※手動チャンネル設定画面で現在どのように設定されているかも確認できます。
※チャンネル自動設定完了前にテレビの電源を「オフ」にしたり、電源コードを抜いたりした場合は、次回「オン」にしたとき、再度初期設定画面を表示します。

ご参考

- お住まいの地域によっては他地域の地上デジタル放送局の電波が受信できる場合があります。
  割り当てる選局ボタンが同じ、複数の局を受信した場合、1 局以外はボタン表示されません。
  手動チャンネル設定（☞63 ページ）で
  ボタンの割り当て変更を行ってください。

初期設定をする（つづき）

■地上アナログ放送

自動チャンネル設定終了後、選局ポジション（1～24）には、受信結果が次のように設定されます。

① 1～12chのうちで受信できたチャンネルがチャンネル番号と同じ数字ボタンに登録されます。

② 13～62chのうちの受信できたチャンネルが、まだ割り当てられていない数字ボタンに対して、小さい数字ボタンから順に登録されます。

■ 自動設定によるチャンネル割り当て例

※地上アナログ放送の受信チャンネル設定を「開始」する前にアンテナ線を接続していない場合は、チャンネル設定ができません。

※初期設定画面は、お買い上げ後最初にテレビ電源を「オン」にすると自動的に表示されます。

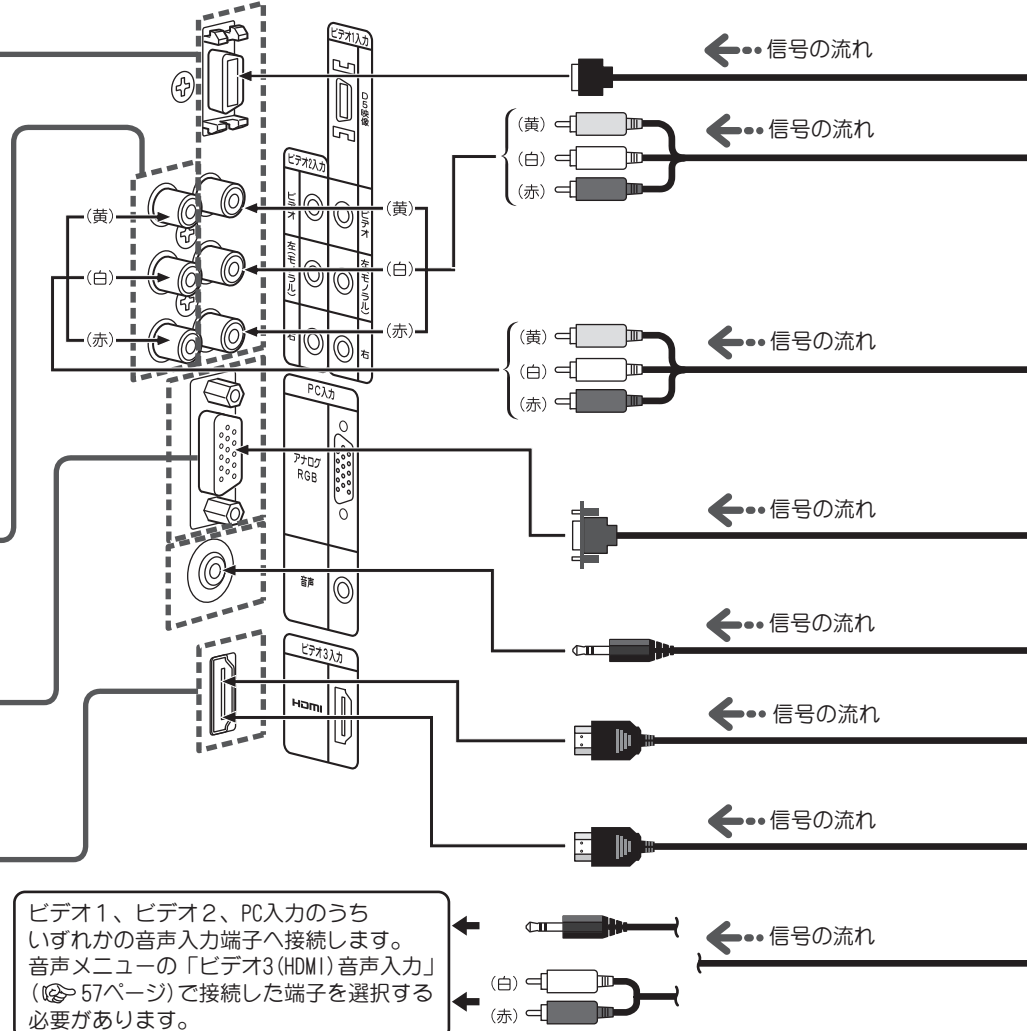
※チャンネル設定メニュー（☞61ページ）で自動設定することもできます。また、どのように設定されているかも確認できます。

※すべての設定を工場出荷設定に戻す場合は、設定初期化を行ってください（☞74ページ）。

※チャンネル自動設定完了前にテレビの電源を「オフ」にしたり、電源コードを抜いたりした場合は、次回「オン」にしたとき、再度初期設定画面を表示します。

※CATVの放送は自動登録されません。CATVチャンネル（C13ch～C63ch）の登録については62ページをご覧ください。

他の外部機器を接続する

他の外部機器を接続しない場合は、第3章「テレビを見る」（☞ 29 ページ）へ進んでください。すぐにテレビ番組をお楽しみいただけます。

※1　ビデオ1入力のD端子とAVケーブルのビデオ端子（黄色ピンプラグ）の両端子に同時に機器を接続した場合、D端子が優先して接続されます。
※2　本機に映像出力端子はありませんので、本機から直接録画することはできません。
※3　パソコンに接続して使用する際は、必ず本機の電源を先に入れてから、パソコンの電源を入れてください。

ご注意

- 外部機器を接続するときは、必ず本機および接続する外部機器の電源を「切」にしてください。
- 映像・音声接続用のプラグと端子は、色分けがしてあります。ケーブルと接続端子のそれぞれの色が合うように接続してください。
- 映像入力端子/音声入力端子には、映像/音声信号以外のものを接続しないでください。故障の原因となることがあります。
- 接続する機器の詳しい使用方法や接続については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続時のご注意
  - プラグは奥まで完全に差し込んでください。不完全な接続はノイズの原因となります。
  - プラグを抜くときは、コードを引っ張らずにプラグを持って抜き取ってください。
  - 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源は切っておいてください。
  - 接続した機器とテレビの画像や音声にノイズがでるときは、お互いを十分に離してください。

本体背面にある外部入力端子に、ビデオデッキやDVDプレーヤー、CATVセットトップボックス（ホームターミナル）などを接続して、映像や音声を楽しむことができます。

外部接続機器例

D映像端子ケーブル（市販品）
ビデオ+オーディオケーブル（市販品）
D映像端子付 デジタルチューナー
D映像端子付 DVDプレーヤー
D映像端子、音声出力端子（白赤ピンプラグ）両方へ接続します。

ビデオ+オーディオケーブル（市販品）
ビデオカメラ
ビデオデッキ
TVゲーム機
映像音声出力端子（黄白赤ピンプラグ）へ接続します。

VGAケーブル（市販品）
オーディオケーブル（市販品）
パソコン本体
VGA端子へ接続します。
音声出力端子へ接続します。

HDMIケーブル（市販品）
HDMI端子付 DVDレコーダー
HDMI端子付の場合
HDMI端子へ接続します。

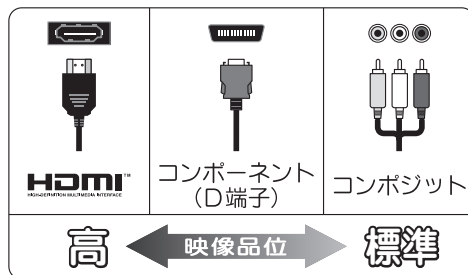
HDMI-DVI変換ケーブル（別売品）
オーディオケーブル（市販品）
パソコン本体
DVI端子付の場合
DVI端子へ接続します。
音声出力端子へ接続します。

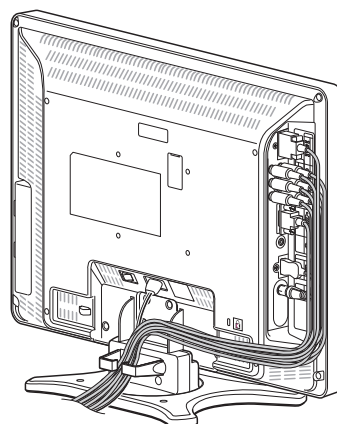
※接続ケーブルについて

接続する機器（ビデオカメラなど）によっては専用ケーブルでつなぐ場合があります。
接続のしかたは接続するそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

ご参考

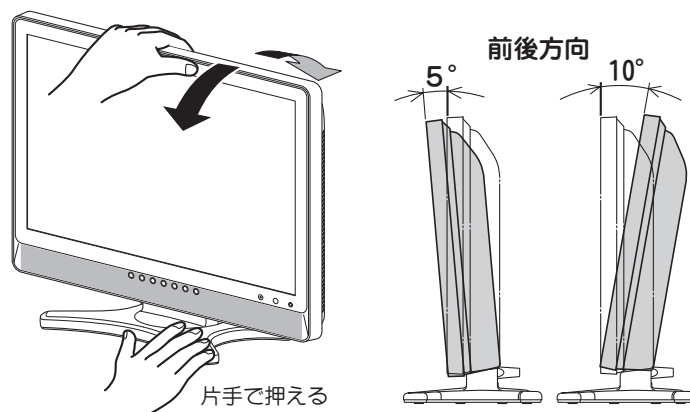
- 各端子の映像クオリティについて
  右図を参考に最適な映像端子をお選びください。
- HDMI端子について
  1本のケーブルで映像信号や音声・コントロール信号をデジタル伝送でき、デジタル信号をアナログ変換しないので最も優れた映像・音声品位が得られます。
- D端子について

・コンポーネントビデオ信号は色差信号とも呼ばれ、映像を輝度信号（白黒成分）と2種類の色信号（青：B-Y／赤：R-Y）に分離して伝送します。
デジタルチューナーやDVDでは輝度信号と色信号を別々に記録してあるため、輝度信号と色信号を混合して伝送する通常のビデオ信号に比べ、色のにじみが少ないなど、高品位な伝送が可能です。
音声については映像・音声出力の音声端子を使用します。

ケーブルの処理

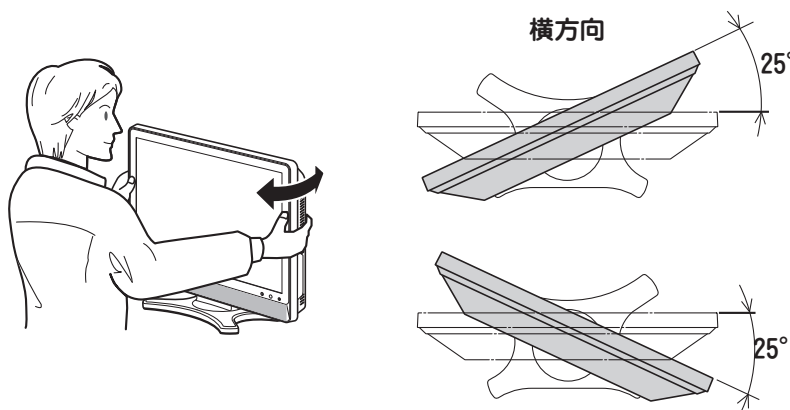
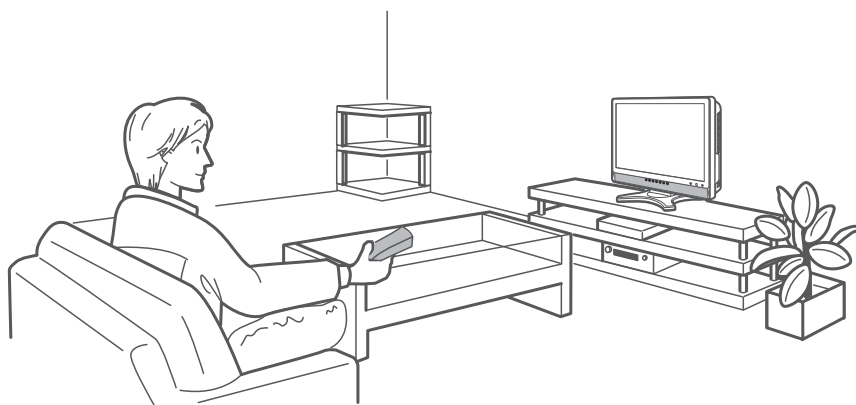
背面の端子に接続したケーブルをスタンド部中央の
フックに通すことで、すっきりまとめることができます。

パネルの角度調整

本機は上下・左右方向に本体角度を変えることができます。

上下方向の角度調整

片方の手でスタンドをしっかり押さえながら、
上部に手をかけ、本体を傾けます。
パネル面が前方へ 5°、後方へ 10° の範囲で
角度の調整ができます。

左右方向の角度調整

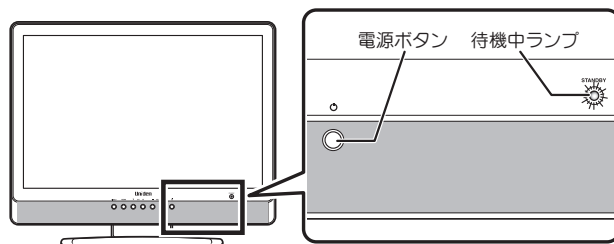
両手でパネル左右を持ち、
本体の向きを調整します。
パネル面の角度を左右 25°
の範囲で調整できます。

第 3 章

テレビを見る

テレビを見る

通常の操作はリモコンで行います。テレビ前面下部に同種のボタンがある場合は、同じように操作できます。

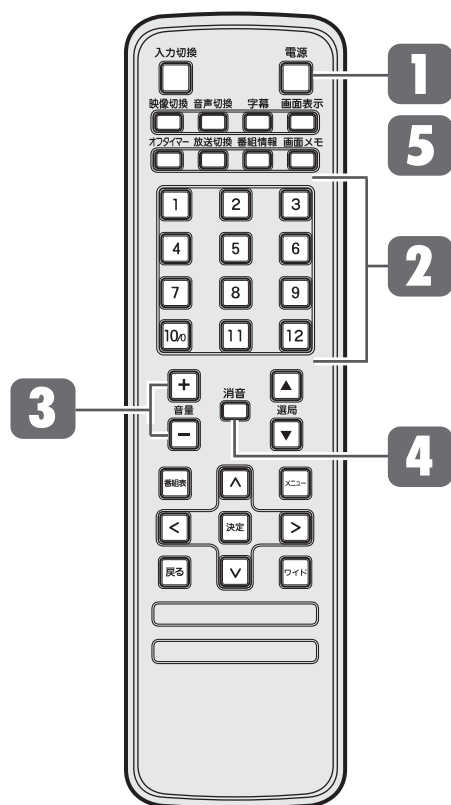
1 電源を入れます

リモコンの 電源 ボタン、**選局（▲/▼）ボタン**
またはテレビ本体の ⏻ **ボタン**を押します。
前面下部の待機中ランプが消えて電源が入ります。

2 チャンネルを選びます

放送切換 **ボタン**を押し、地上デジタル放送
または地上アナログ放送に切り換えます。
数字ボタンまたは**選局（▲/▼）ボタン**で
チャンネルを選びます。

> 放送切換 **ボタン**を押すたびに、地上アナログ放送・地上デジタル放送が交互に切り換わります。

地上デジタル放送の場合は、電子番組表から
番組を選ぶこともできます（☞次ページ）。

※外部機器（ビデオ・DVD 等）を見るとき
（☞ 48 ページ）

3 音量を調節します

音量（+ / −）ボタンで音量を調節します。
画面下側に音量が表示されます。

4 音を一時的に消します

消音 **ボタン**を押します。
・もう一度 消音 **ボタン**を押すと、
　元の音量に戻ります。

5 電源を切ります

リモコンの 電源 **ボタン**または、本体の
⏻ **ボタン**を押すと電源待機状態となり、
待機中ランプが点灯します。

ご参考

- テレビ電源待機中に下記のリモコンボタンを押すと、電源ボタンを押さずにダイレクトに操作できます。

  数字ボタン
  電源が入り、押したボタンのチャンネルを表示します。

  消音ボタン
  消音状態で電源が入り、最後に見ていた画面を表示します。

  選局（▲/▼）ボタン
  電源が入り、最後に見ていたチャンネルを表示します。

- 地上デジタル放送ではサブチャンネルでの放送が行われていることがあります。
  数字ボタンを繰り返し押すと、サブチャンネルを選択できます（サブチャンネルでの放送がある場合のみ）。

  例：2 を 1 回 ⇒ 2_1（サブチャンネル 1）
  　　2 を 2 回 ⇒ 2_2（サブチャンネル 2）
  　　2 を 3 回 ⇒ 2_3（サブチャンネル 3）

電子番組表を見る（番組表）

地上デジタル放送では、放送局から送られてくる番組情報をもとに、新聞や雑誌などのテレビ番組欄のような放送局別の番組一覧や、個々の番組内容などを見ることができるほか、番組表から番組を選んで視聴したり、視聴予約をすることができます。

※番組表は現在から７日先まで表示されます。

※本機で表示できる電子番組表は地上デジタル放送のみです。地上アナログ放送に電子番組表はありません。

■番組表を表示する

番組表 **ボタン**を押します。

押すたびに番組表の表示 / 非表示が切り換わります。
現在見ている番組がハイライト（緑色）されます。

番組表のみかた

お知らせ

- お買い上げ後初めてお使いになるときは、番組情報の取得に時間がかかる場合があります。ご覧になりたい放送局を１分程度視聴してから番組表を表示してください。
- 本機の電源を待機中にしておくと、デジタル放送の電子番組表が自動的に取得されます。電子番組表の表示を速くしたい場合は、電源コードを抜いたり主電源をオフにしたりせず、本機を常に待機状態（待機中ランプが赤点灯）にしておいてください。

電子番組表を見る（番組表）（つづき）

■番組表から番組を選ぶ

同一時間帯の他局の番組を選ぶ（ ① ）には
[＜] / [＞] **ボタン**を押します

同一放送局の他の時間帯の番組を選ぶ（ ② ）には
[∧] / [∨] **ボタン**を押します

ご参考

番組を選んで [決定] **ボタン**を押すと、ポップアップメニューが表示されます。
「視聴する」（現在放送中の番組の場合）　　…番組を選局します。
「視聴予約」（これから放送される番組の場合）…視聴予約画面（☞35 ページ）が表示されます。
いずれかを選び、[決定] **ボタン**を押すとその番組を視聴または視聴予約できます。

■番組の詳しい情報を見る（番組説明）

番組をハイライト（緑色）した状態で [決定] **ボタン**を押すと、ポップアップメニューが表示されます。

[∧] / [∨] **ボタン**で「番組説明」を選択し、[決定] **ボタン**を押すと、選んだ番組の詳細な番組情報が表示されます。

「番組説明」画面のみかた

番組説明には、番組の内容や映像・音声情報など、選んだ番組に関するさまざまな情報が表示されます。
[∧] / [∨] **ボタン**を押すと番組説明の内容をスクロールできます。

「視聴する」（現在放送中の番組の場合）
…番組を選局します。
「視聴予約」（これから放送される番組の場合）
…視聴予約画面（☞35ページ）が表示されます。
「番組表へ戻る」
…番組表画面に戻ります。

いずれかを選んで [決定] **ボタン**を押してください。

ご参考

● 地上デジタル放送番組の視聴中に [番組情報] **ボタン**を押すと、視聴している番組の番組詳細を見ることができます（☞46 ページ）。

ご注意

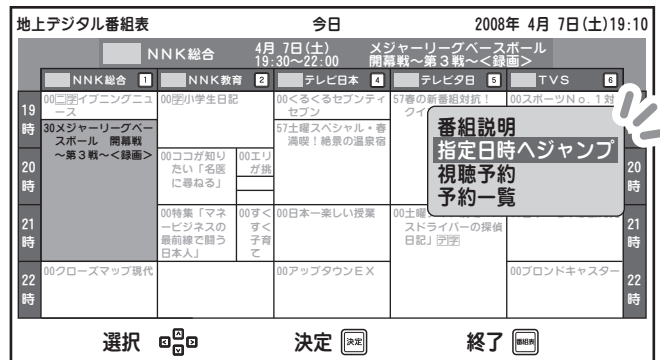
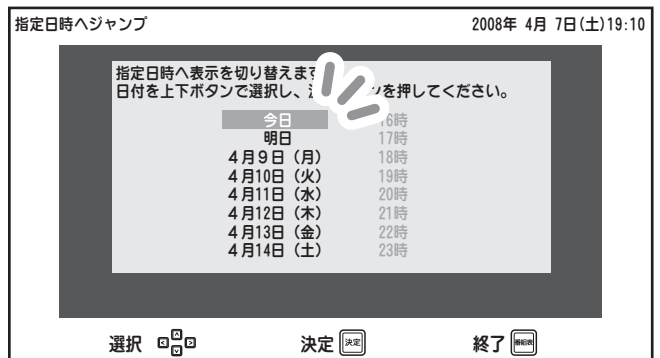
● 番組情報が取得できていない場合は、番組説明は表示されません。

電子番組表を見る（番組表）（つづき）

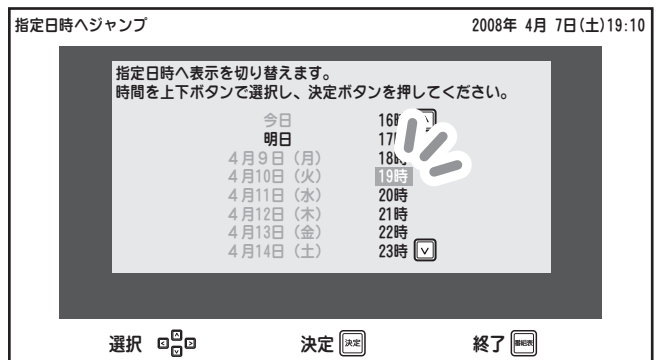
■指定した日時の番組表を見る（指定日時へジャンプ）

日時を指定して現在から７日先までの番組表を見ることができます。

番組をハイライト（緑色）した状態で
[決定] **ボタン**を押し、ポップアップメニューを表示させます。

[∧] / [∨] **ボタン**で「指定日時へジャンプ」を選び、[決定] **ボタン**を押すと、日時設定画面が表示されます。

[∧] / [∨] **ボタン**で日付を選び、
[決定] **ボタン**を押します。

次に [∧] / [∨] **ボタン**で時間を選び、
[決定] **ボタン**を押します。

指定した日時の番組表が表示されます。

ご参考

- [決定] **ボタン**を押す前に [<] **ボタン**を押すと日付設定に戻ることができます。

■番組表を終了する

[番組表] **ボタン**を押します。

テレビを見る

番組表から視聴予約をする

番組表から番組を指定して現在から 7 日先までの視聴予約をすることができます。
視聴予約をすると、設定した時刻に自動的に本機の電源が入り、予約したチャンネルを視聴できます。
予約は最大 30 件まで登録することができます。

● メニュー画面で日時を指定して視聴予約（タイマー予約）することもできます（☞ 65 ページ）。

視聴予約をする（番組表予約）

1 視聴予約する番組を選びます

番組表を表示させ、視聴予約したい番組を選びます。

番組名をハイライトした状態で 決定 ボタンを押すと、画面右上にポップアップメニューが表示されます。

∧ / ∨ ボタンで「視聴予約」を選び、決定 ボタンを押します。

番組表から視聴予約をする（つづき）

2 視聴予約を登録します

画面上の各項目を [∧] / [∨] **ボタン**で選び、
[<] / [>] **ボタン**で設定します。

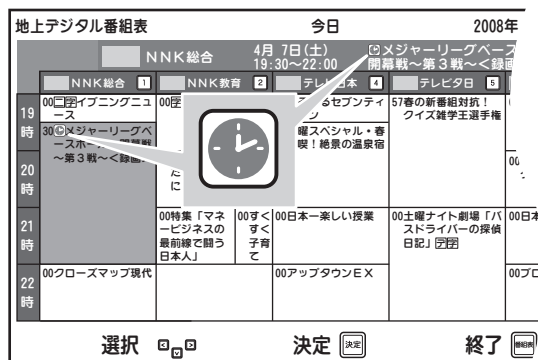
※ 番組によって選択できない項目があります。
（選択できる項目のみ設定できます。）

「映像」　　　　：複数の映像がある番組の場合に選択できます（☞44 ページ）。
「音声」　　　　：複数の音声がある番組の場合に選択できます（☞43 ページ）。
「延長追従」　　：スポーツ中継などで番組が延長された場合でも、終了するまで自動的に予約を延長します。
「イベントリレー」：高校野球中継など、番組の途中で別のチャンネルに切り替わる場合、自動的に予約が変更されます。

※ 放送局からの情報によっては、「延長追従」の時間変更に対応できない場合があります。

3 予約登録を完了します

設定が終わったら [∧] / [∨] または [<] / [>] **ボタン**で
「登録」を選択し、[決定] **ボタン**を押します。
登録が完了して番組表に戻ります。

視聴予約が登録されると、番組表に
（タイマーアイコン）が表示されます。
（放送時間の短い番組はタイマーアイコンが
表示されないことがあります。）

ご参考

- 本機の電源が「入」のときは、予約開始時間の 15 秒前になると画面左下にメッセージが 5 秒間表示されます。
予約開始時刻になると、予約したチャンネルに切り替わります。

まもなく、視聴予約の開始時間です

- 予約が終了すると…

予約開始時に本機の電源が
「入」の場合：そのままのチャンネルを表示します。
「切」の場合：予約終了時に電源が「オフ」になります。

番組表から視聴予約をする（つづき）

正しく予約登録が完了しないときは

■番組がすでに開始されている

登録する視聴予約の開始時刻が過ぎているときに表示されます。

［<］ **ボタン**を押すと、前画面に戻ります。

［決定］ **ボタン**を押すと、その番組を視聴できます。

■同じ日時にすでに予約が登録されている（重複予約）

すでに登録されている視聴予約の内容が一覧表示されます。

［<］ **ボタン**を押すと、前画面に戻ります。

そのまま登録する場合は ［決定］ **ボタン**を押します。

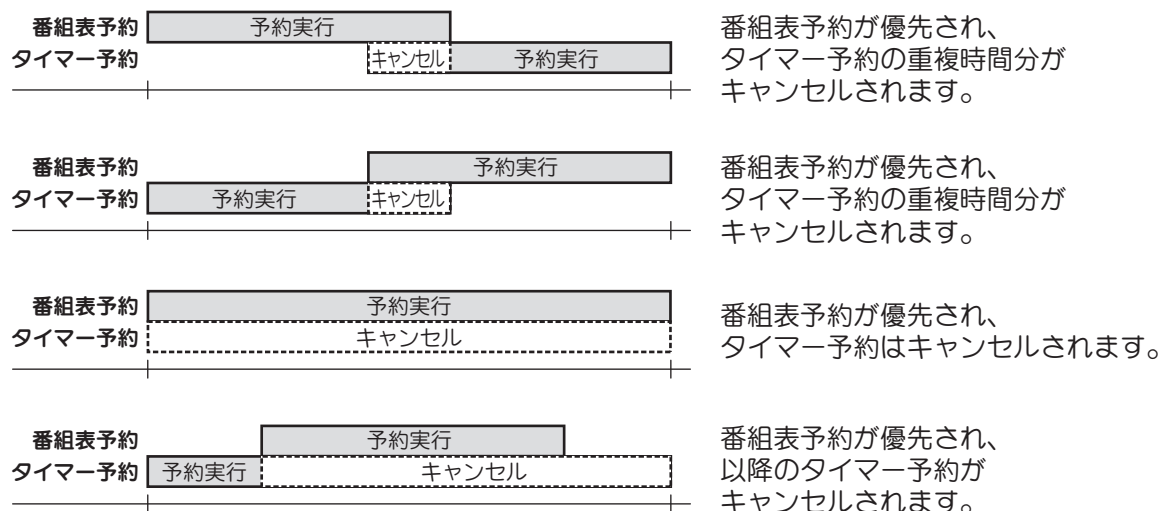
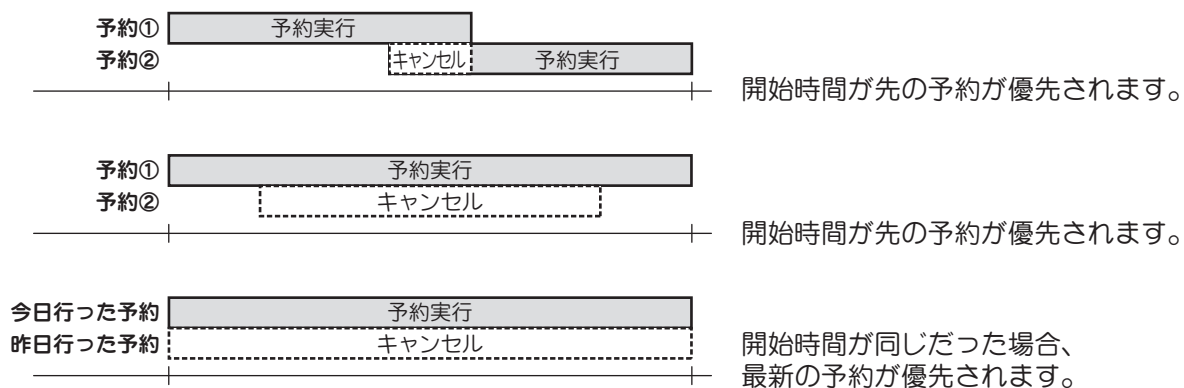
※この場合、登録が完了しても予約が正しく機能しない（選局されない）場合があります。

※重複予約について詳しくは「重複予約の視聴」（☞ 次ページ）をご覧ください。

番組表から視聴予約をする（つづき）

ご参考　**重複予約の視聴**

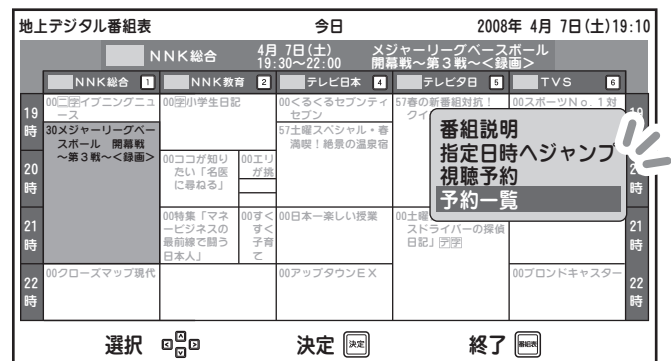
- 視聴予約（番組表からの予約やメニューからの予約）が２つ以上重なった場合は次のようになります。

■「番組表予約」と「タイマー予約」が重複した場合

■「番組表予約」どうし、または「タイマー予約」どうしが重複した場合

番組表から視聴予約をする（つづき）

予約一覧と予約の編集・取消

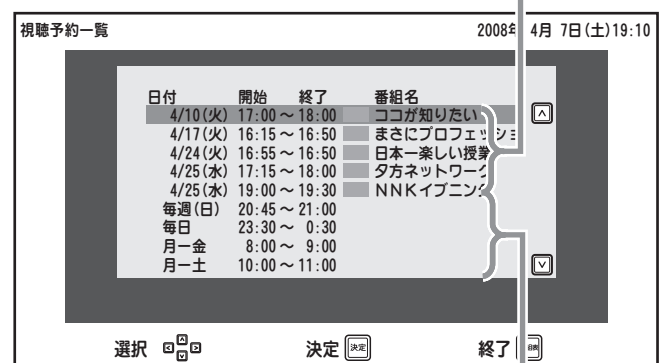
登録されている視聴予約を一覧で確認できます。また、予約の編集や取り消しをすることができます。
※予約一覧は視聴予約メニューからも見ることができます（☞67 ページ）。

■視聴予約一覧を見る

1 番組表を表示中に［決定］**ボタン**を押すと、ポップアップメニューが表示されます。

2 ［∧］/［∨］**ボタン**で「予約一覧」を選んで［決定］**ボタン**を押すと、予約一覧画面が表示されます。

※視聴予約が１件も登録されていない場合「予約一覧」は選択できません。

［＜］**ボタン**を押すと前画面に戻ります。
［番組表］**ボタン**を押すと終了します。

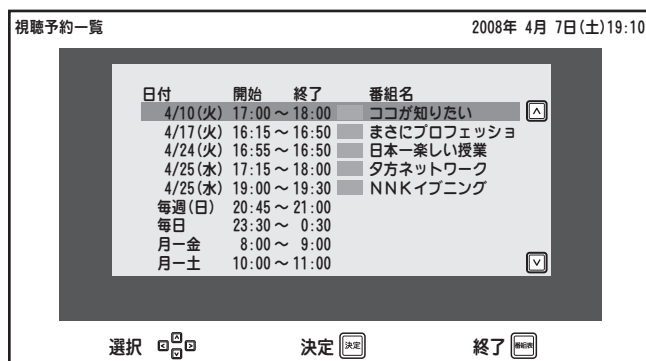
番組表からの視聴予約

視聴予約メニューから予約した場合は番組名が表示されません（☞67ページ）。

ご注意

- **予約の重複について**
  灰色の文字で表示されている視聴予約は予約が重複しており、視聴予約が正しく機能しません。
  「重複予約の視聴」（☞前ページ）を参照の上、設定内容を再度ご確認ください。

番組表から視聴予約をする（つづき）

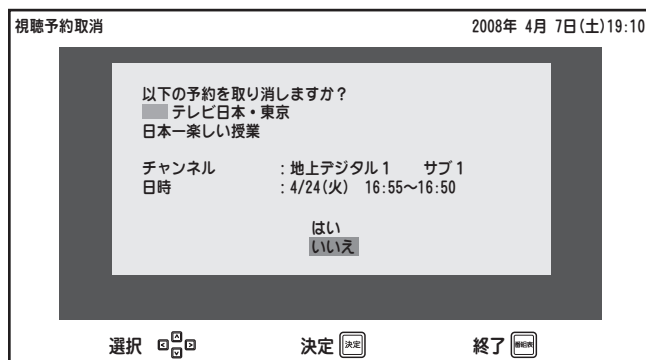
■視聴予約を取り消す

1 視聴予約一覧を表示します（☞前ページ）。

2 ∧ / ∨ **ボタン**で予約を取り消したい番組を選んで 決定 **ボタン**を押すと、番組タイトル下にポップアップが表示されます。

∧ / ∨ **ボタン**で「取消」を選び、決定 **ボタン**を押すと、予約取消画面が表示されます。

3 ∧ / ∨ **ボタン**で「はい」を選び、決定 **ボタン**を押すと、視聴予約が取り消されます。

∧ / ∨ **ボタン**で「いいえ」を選び、決定 **ボタン**を押すと、視聴予約一覧画面に戻ります。

番組表 **ボタン**を押すと終了します。

番組表から視聴予約をする（つづき）

■視聴予約を編集する

1 視聴予約一覧を表示します（☞ 38ページ）。

2 視聴予約一覧から ∧ / ∨ **ボタン**で予約設定を編集したい番組を選んで 決定 **ボタン**を押すと、番組タイトル下にポップアップが表示されます。

∧ / ∨ **ボタン**で「編集」を選び、決定 **ボタン**を押すと、予約編集画面が表示されます。

3 編集のしかたや設定内容については35ページの「視聴予約登録」手順2をご覧ください。

※番組により設定できる項目が異なります。（灰色で表示されている項目は編集できません。）

設定が終わったら ∧ / ∨ または ＜ / ＞ **ボタン**で「更新」を選択します。決定 **ボタン**を押すと変更内容が確定し、視聴予約一覧画面に戻ります。

番組表 **ボタン**を押すと終了します。

テレビを見る

チャンネル番号などを表示する（画面表示）

画面表示ボタンを押すと、現在時刻や現在受信中のチャンネル番号・音声情報・映像情報などが表示されます。

画面表示 ボタンを押します

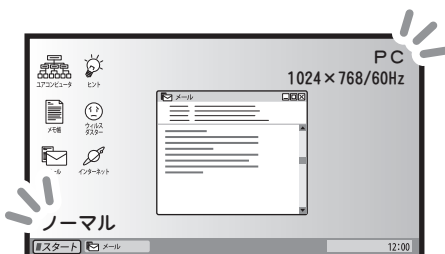
■地上デジタル放送の場合

受信中のチャンネル番号や番組名などの情報が表示されます。
もう一度 画面表示 **ボタン**を押すと画面左上の番組名が消え、さらにもう一度押すと右上のチャンネル番号と右下の現在時刻表示が消えます。

■地上アナログ放送の場合

画面右上に受信中のチャンネル番号、音声モード、左下にワイドモードが表示されます。
もう一度 画面表示 **ボタン**を押すと、表示は消えます。

■PC 入力の場合

画面右上に PC 入力の映像フォーマット、左下にワイドモードが表示されます。
もう一度 画面表示 ボタンを押すと、表示は消えます。

※外部入力を選択した場合は音声モードは表示されません。
※映像フォーマット（480i、480p、1080i、720p、1080p）は地上デジタル放送、ビデオ 1（D 端子接続のみ）、ビデオ 3 を選択したときに表示されます（☞48 ページ）。
※チャンネル番号（外部入力の場合は入力端子名）以外は 3 秒後自動的に消えます。
※現在時刻を常に画面上に表示させておくこともできます（☞72 ページ）。

ご参考

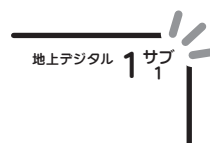
■地上デジタル放送の場合

地上デジタル 1 サブ 1

- サブチャンネル放送がある場合、
  代表チャンネル番号の横にサブチャンネル番号が表示されます。
- 画面表示のみかた
  画面左上に表示される情報として、次のものが表示されることがあります。

S ステレオ放送番組　 サラウンド放送番組　 字幕放送番組

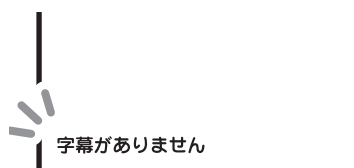
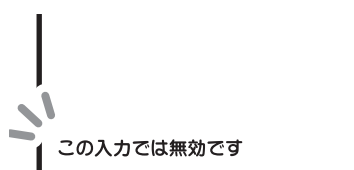
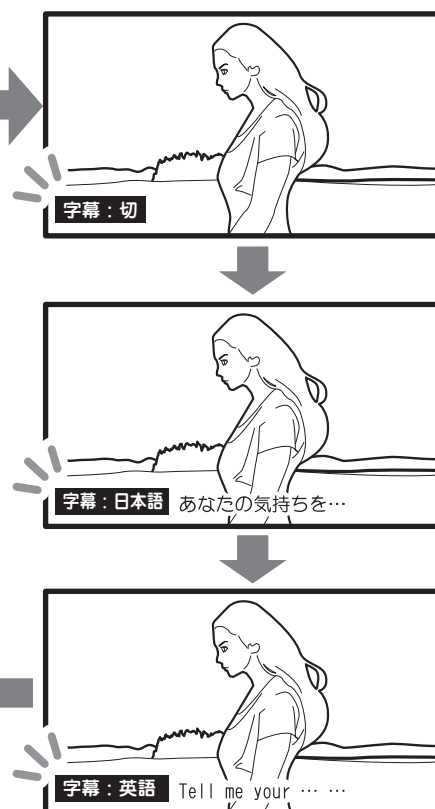
二 二ヶ国語放送番組　 解説音声付番組

テレビを見る

字幕を表示する（字幕）

映画やドラマなどの字幕を表示したり、消したりできます。

放送視聴中に 字幕 ボタンを押します

押すたびに切、言語 1、言語 2 と切り換わります。
※「言語 1」「言語 2」の表示は番組により異なります。

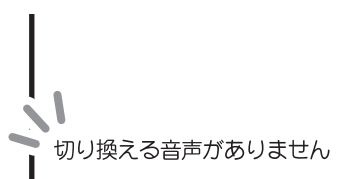
例：視聴している番組が日本語（言語 1）・
英語（言語 2）の字幕放送をしている場合

お知らせ

- 「言語 1」「言語 2」の表示は番組情報に依存します。
- 放送局側で字幕表示を消せない設定にしている番組もあります。
- メニュー画面で初期設定値を変更することができます（☞72 ページ）。

▌二カ国語音声を選ぶ（音声切換）

日本語と英語など二カ国語放送や複数音声番組の場合、音声を切り換えることができます。

音声切換 ボタンを押します

ボタンを押すたびに「主音声」「副音声」「主 / 副」の順に切り換わります。

※この設定はメニュー画面でも行うことができます（☞ 57 ページ）。

● 切り換える音声がない場合は、画面左下に

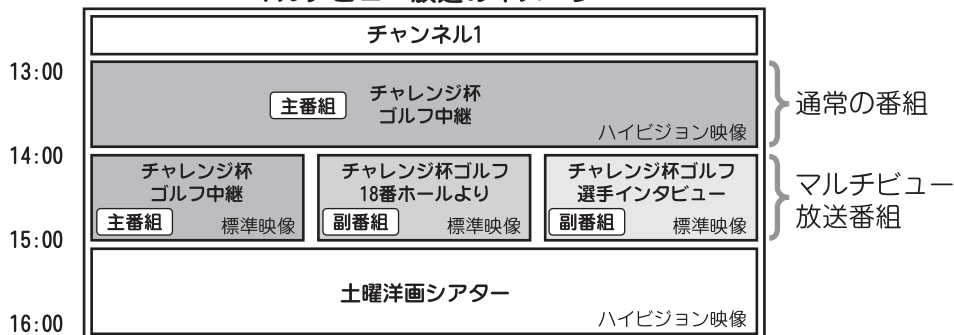
と表示されます。

ご注意

● 二カ国語放送でない場合、ボタンを押しても切り換わりません。
● 主 / 副にすると、左スピーカーから主音声、右スピーカーからは副音声が出力されます。
●「主音声」「副音声」「主 / 副」の表示は放送局側からの番組情報に依存します。

マルチビュー放送を見る（映像切換）

お知らせ

- マルチビュー放送とは
  ひとつのチャンネル内で主番組・副番組の複数映像が送られる放送です（最大 3 チャンネル）。
  たとえばゴルフ中継など、主番組では通常の放送、副番組ではそれぞれ 18 番ホールの映像と、ホールアウトした選手のインタビュー映像を放送をするなど、視聴者が見たい場面を選択して見ることができる放送が行われる予定です。
  （2008 年 11 月現在、マルチビュー放送は行われていません。）

映像切換 ボタンを押します

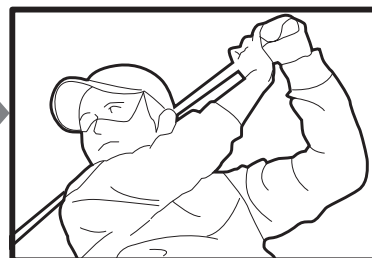
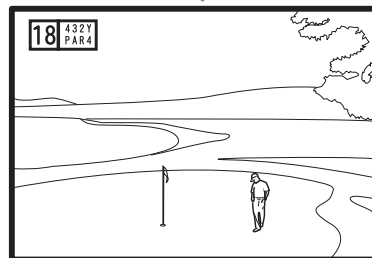
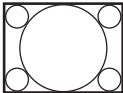
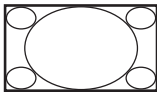
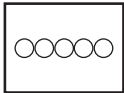
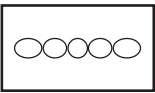
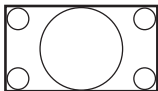
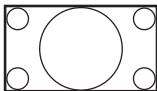
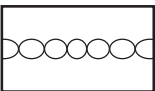
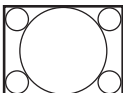
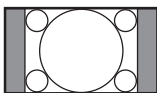
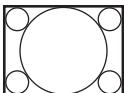
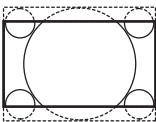
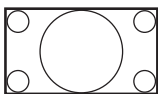
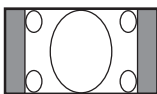
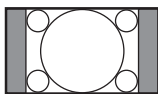
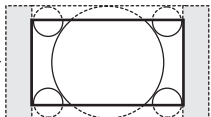
ボタンを押すたびに、同一チャンネル内での放送が切り換わります。

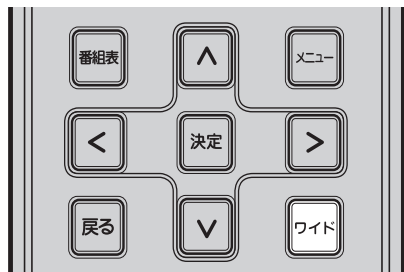
ご参考

- 切り換える映像がない場合は、画面左下に

  切り換える映像がありません

  と表示されます。

テレビを見る

画面をワイドやズーム表示にする（ワイド）

表示画面を、フル表示、ノーマル（4:3）表示、パノラマ表示、ズーム（16:9）表示、Dot by dot 表示（PC 入力または DVI 接続の場合）に切り換えることができます。

※映像のフォーマットやアスペクト比、入力経路によって選択できないワイドモードがあります。

ワイド ボタンを押します

ボタンを押すたびに画面が切り換わり、
画面いっぱいに表示させることができます。

モード	元映像	画面表示	説明
フル	4:3		縦がおよそ75%縮小され、画面全体に表示されます。
	16:9		そのまま表示されます。
パノラマ	4:3		
	16:9		ややズーム表示となり、左右端に近づくにつれて横長の映像になります。
ノーマル	4:3		画面左右に黒帯部分ができますが、画面はそのまま表示されます。
	16:9		やや縦長の画像になり、画面の左右に映像が表示されない部分が生じます。
ズーム	4:3		上下がカットされて表示されます。
	16:9		上下左右がカットされて表示されます。
Dot by dot			PC入力またはDVI接続時、映像情報を拡大・縮小せず中央に表示します。

お知らせ

- 自動ワイド切換機能（☞ 58 ページ）を「入」にすると、受信映像信号に縦横比情報が検出されると最適な画面サイズで表示します。

ご参考

- メニュー画面の「画面設定・現在のワイドモード」（☞ 58 ページ）でも同様の設定ができます。
- PC 入力または DVI 接続の場合は、フル表示、ノーマル表示、Dot by dot 表示に切り換えることができます。パノラマ表示およびズーム表示は選択できません。

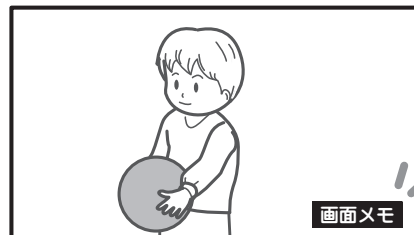
静止画にする（画面メモ）

現在受信中の映像を静止画として記憶し、表示します。
電話番号や地図・レシピなど、メモを取りたいときに便利です。

ご参考

- 画面メモは、チャンネル選局、ワイド表示切換、外部入力の切換などを行うと、自動的に消去されます。
- 入力切換で PC を選択している場合は表示されません。

1 画面メモ **ボタンを押します**

画面にそのとき表示されていた映像が表示されます。

2 もう一度 画面メモ **ボタン**を押すと、画面メモは消えます。

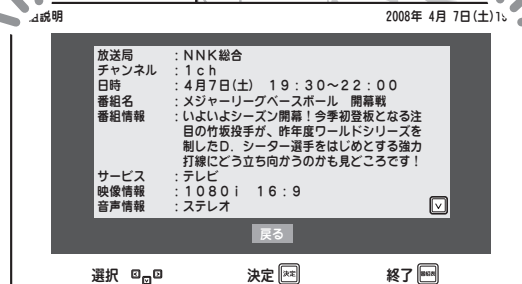
視聴している番組の番組情報を見る（番組情報）

地上デジタル放送では、視聴している番組の詳しい情報を見ることができます。

ご注意

- 番組情報が取得できていない場合は、番組詳細は表示されません。

1 **地上デジタル放送を視聴中に** 番組情報 **ボタンを押します**

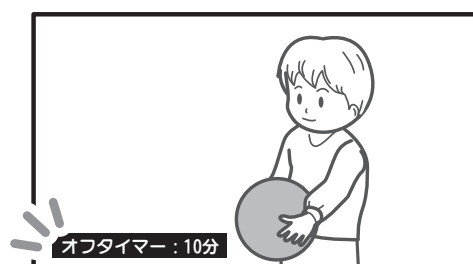
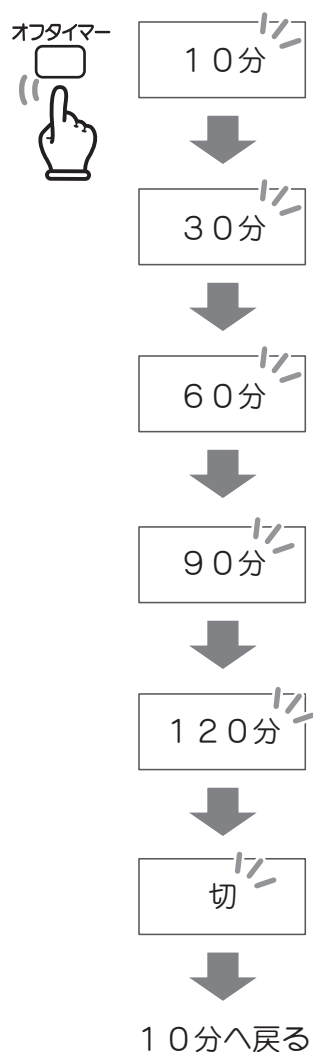
見ている番組の番組情報が表示されます。

2 決定 **ボタン**を押すと表示が消え、元の画面に戻ります。

オフタイマーを使う（オフタイマー）

オフタイマーを設定すると指定した時間後に電源が切れます。テレビを見ながらおやすみになるときなどに便利です。オフタイマーは 10 分、以降 30 分単位で 30 分から 120 分まで設定できます。

オフタイマー ボタンを押します

オフタイマー設定画面になります。
ボタンを押すたびに「10 分」→「30 分」→「60 分」→「90 分」→「120 分」→「切」→「10 分」…のように設定できます。

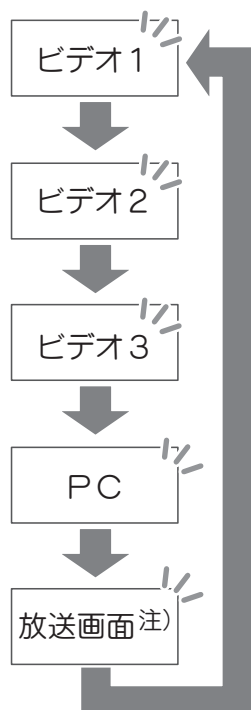
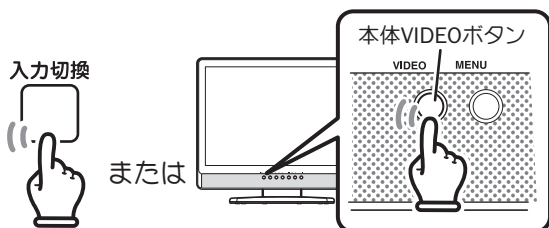
画面左下にタイマー設定時間が約 5 秒間表示されます。

・ 設定時間が経過すると…
タイマー動作 1 分前に「オフタイマー：まもなく電源が切れます」と画面表示され、自動的に電源待機状態になります。

ご注意

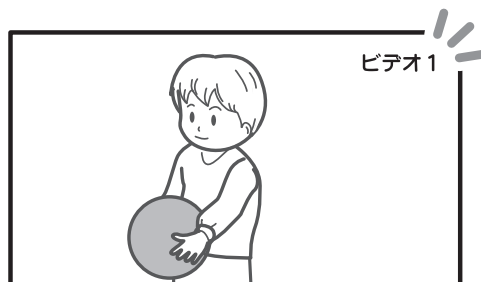
- 電源を切った場合、オフタイマーは解除されます。
- オフタイマーがすでに設定されている状態で オフタイマー **ボタン**を押すと、「オフタイマー：あと○○分」と残り時間が表示されます。
  残り時間表示中にもう一度 オフタイマー **ボタン**を押すと、残り時間の最大値に設定されます。
  （例：残り時間 25 分でボタンを押すと「30 分」に設定されます。）
  そのままボタンを押すと新たにオフタイマー時間の設定ができます。

外部接続した機器を使う（入力切換）

背面の外部入力端子に接続した、ビデオデッキやDVDプレーヤーなどの使用時に入力切換を行います。

リモコンの 入力切換 ボタンまたは本体の**VIDEO ボタン**を押すたびに下記の順序で切り替わります。

注）地上アナログ放送/地上デジタル放送のうち、現在視聴中のいずれか１つが表示されます。（本体前面のVIDEOボタンを押して切り換えた場合は、すべての放送が表示されます。）

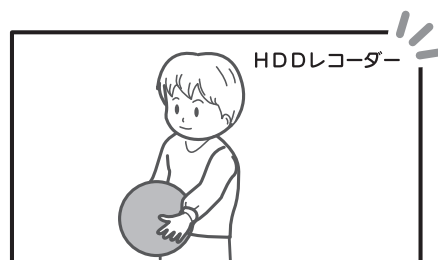
1 入力切換 ボタンを押します

ボタンを押すたびに入力が切り換わります。
画面右上にチャンネル番号または入力端子の名称が表示されます。

2 各操作を行います

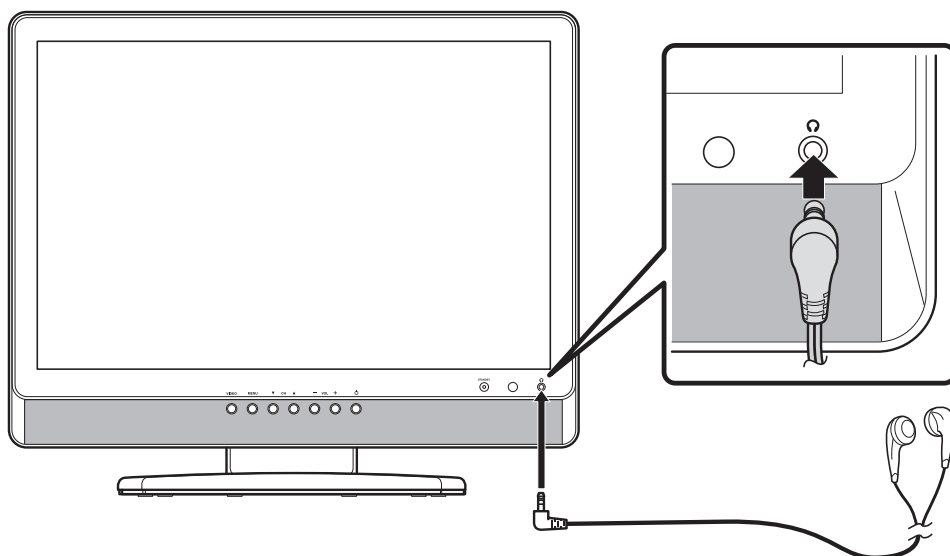
音量調節は本機のリモコンで行いますが、その他の操作は接続した機器の取扱説明書に従って操作してください。

ご参考

本機には入力切換時にお使いいただける便利な機能があります。各機能については入力端子の設定（☞ 71, 72 ページ）をご覧ください。

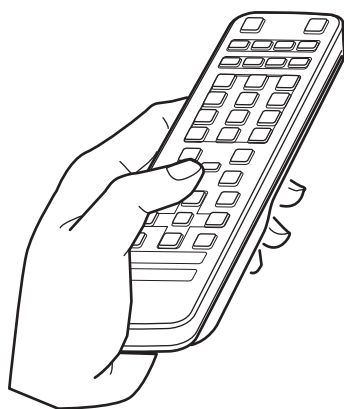
- **画面表示名の変更**
  画面に表示される名称は、接続した機器に合わせて変更することができます。

- **入力端子のスキップ**
  入力切換の際に外部機器を接続していない入力端子をスキップすることができます。

ヘッドフォンで楽しむ

市販のヘッドフォンを使用するときは、本体前面にあるヘッドフォン出力端子に接続してください。

ご注意

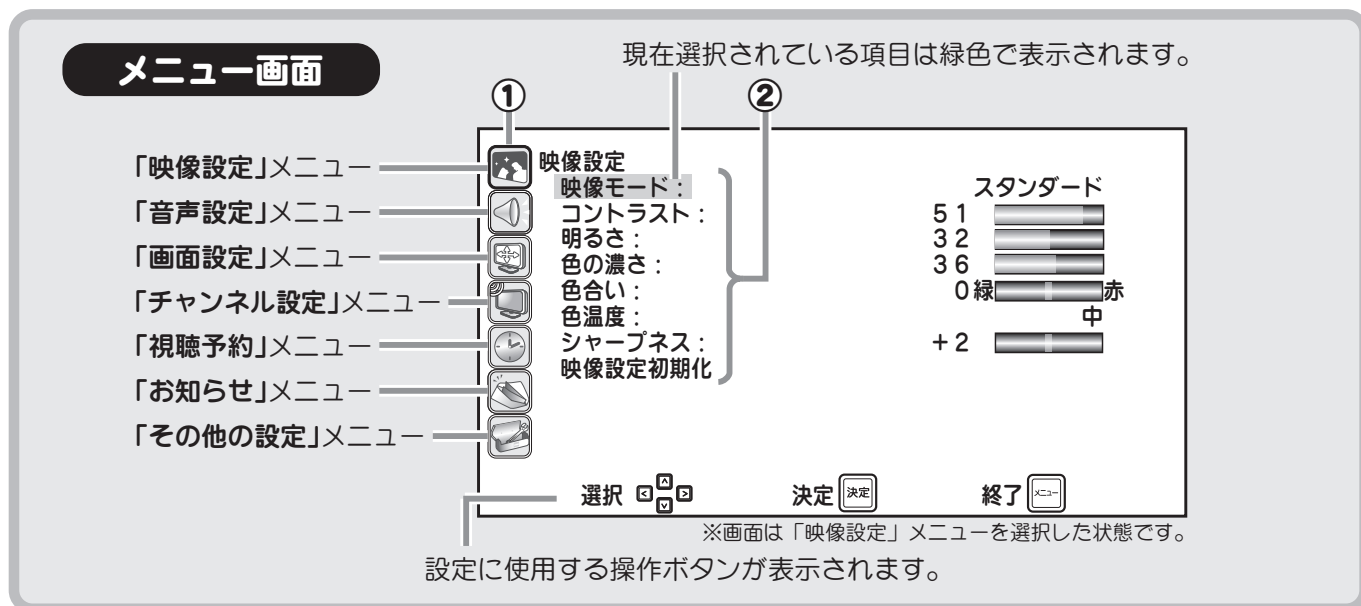
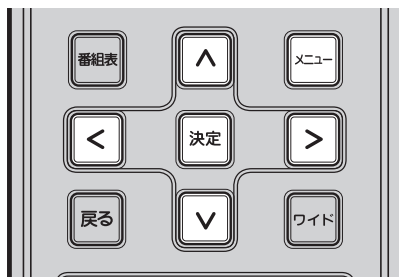
- ヘッドフォンプラグは確実に挿入してください。
（不完全なときは、スピーカーから音もれすることがあります。）

本体のヘッドフォン出力端子は、φ 3.5 ステレオミニジャックとなっています。
ステレオミニプラグ以外のヘッドフォンの場合は、ステレオミニプラグに変換して接続してください。

第４章

各種設定のしかた

各種設定のしかた（メニュー）

※本機をはじめてご使用になる場合は、はじめに初期設定を行ってください（☞22 ページ）。

- メニュー画面では、映像・音声・チャンネル設定に関する各種調整・設定ができます。
- 項目設定後に、すべての設定を初期（工場出荷時）状態に戻したいときは、設定初期化を行ってください（☞74 ページ）。

各メニューの設定項目については 54 ページのメニュー一覧表をご覧ください。
各設定項目はすべて以下の方法で設定が行えます。

1 [メニュー] **ボタン**を押し、メニューを表示します。

2 [∧] / [∨] **ボタン**を押し、設定したい第 1 階層のメニュー（ ① ）を選択します。
選択されている項目はアイコンの枠が緑色になります。

選択中は右の枠内にそのメニューで設定できる第 2 階層のサブメニュー（ ② ）が表示されます。

[決定] **ボタン**を押すと第 2 階層のサブメニューへ移り、選択項目がハイライト（緑色）されます。

3 [∧] / [∨] **ボタン**で選択項目のハイライト（緑色）を動かし、第 2 階層のサブメニューを選択します。

[決定] **ボタン**を押すと第 3 階層のサブメニューへ移り、選択項目がハイライトされます。

4 [∧] / [∨]（または [<] / [>]）**ボタン**で設定値を変更します。

5 [決定] **ボタン**を押すと設定を完了し、設定画面に戻ります。

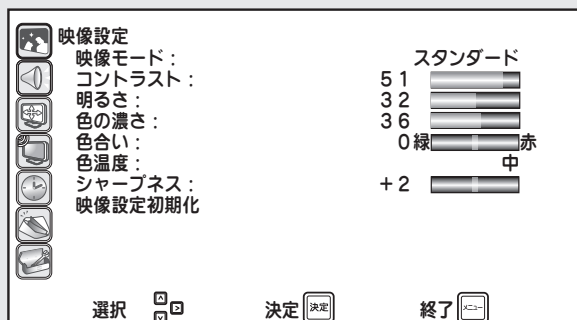
6 [メニュー] **ボタン**を押すとメニューを終了します。

各種設定のしかた（メニュー）（つづき）

メニュー画面の基本操作

メニュー画面を表示する・終了する

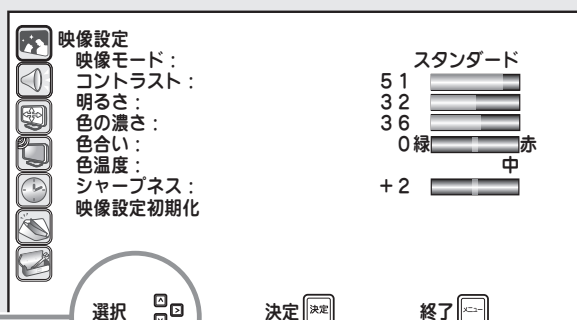
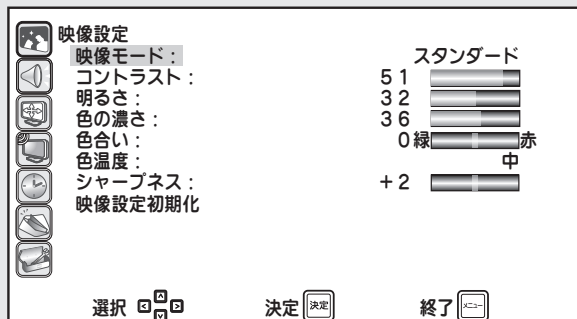
 ボタン

※再度押すとメニュー画面が消え、元の画面に戻ります。

項目の選択・カーソルの移動

 ボタン

※画面下には使用できるボタンが表示されます。

選択内容の確定

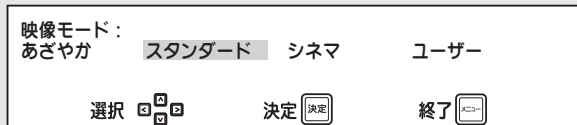
決定 ボタン

ひとつ前の画面に戻る

戻る ボタン

※ 第2階層（サブメニュー）から第1階層へは < ボタンでも戻ることができます。

例）「映像モード」の場合

第3階層（「映像モード」設定画面）

映像モード：
あざやか　スタンダード　シネマ　ユーザー
選択　決定　終了

戻る ボタンを押す

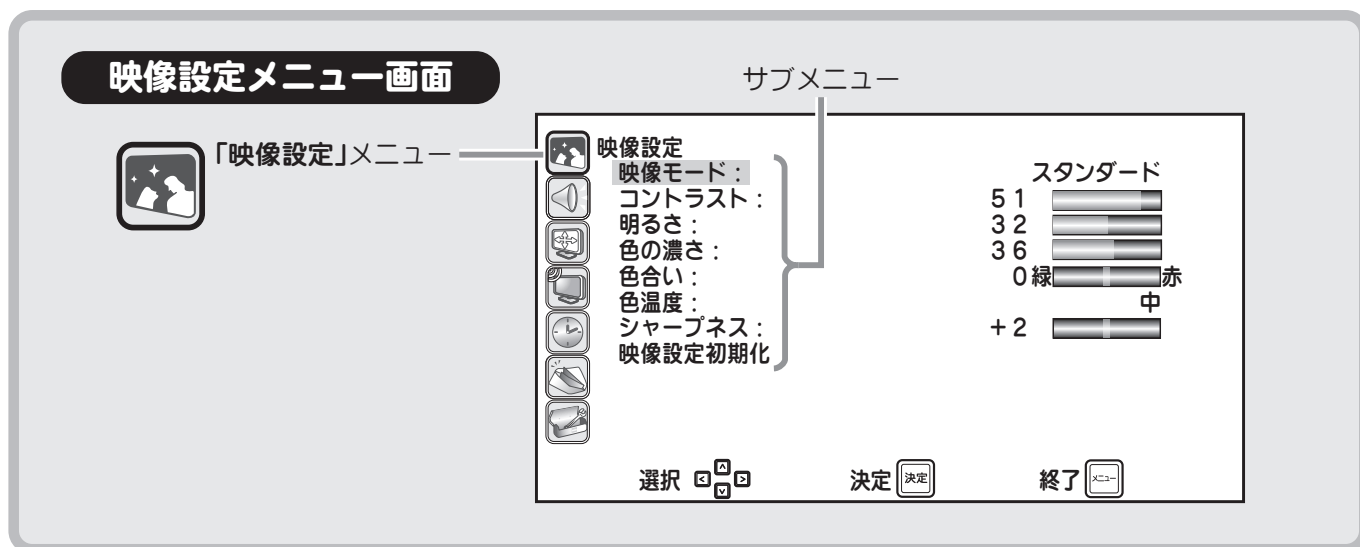
第2階層（「映像設定」サブメニュー画面）**に戻る**

メニュー一覧表

第１階層（メニュー）	第２階層（サブメニュー）	第３階層
●メインメニュー		
映像設定　（55ページ）	●映像設定メニュー	
	映像モード	あざやか スタンダード シネマ ユーザー
	コントラスト	64段階
	明るさ	64段階
	色の濃さ	64段階
	色あい	64段階
	色温度	「高」、「低」、「中」
	シャープネス	15階調
	映像設定初期化	
音声設定　（56ページ）	●音声設定メニュー	
	低音	15段階
	高音	15段階
	バランス	33段階
	ステレオ/モノラル	「オート」、「モノラル」
	二カ国語放送	「主音声」、「副音声」、「主/副」
	ビデオ３（HDMI）音声入力	「HDMI音声入力」、「ビデオ１音声入力」、「ビデオ２音声入力」、「PC音声入力」
	音声設定初期化	
画面設定　（58ページ）	●画面設定メニュー	
	現在のワイドモード	フル、ノーマル、パノラマ、ズーム、Dot by dot
	自動ワイド切換	「入」、「切」
	標準のワイドモード	フル、ノーマル、パノラマ、ズーム、切
	16：9映像表示設定	チューナー、ビデオ端子、16：9映像表示設定初期化
	オーバースキャン	チューナー（地上アナログ放送／地上デジタル放送） ビデオ１、２、３端子、PC端子 オーバースキャン設定初期化
	自動調整	「実行」、「中止」
	水平表示位置設定	−50〜+50（最大）※2
	垂直表示位置設定	−20〜+20（最大）※2
	クロック	−30〜+30（最大）※2
	位相	−30〜+30
	画面設定初期化	
チャンネル設定（61ページ）	●チャンネル設定メニュー	
	アンテナレベル	受信電波のレベル表示
	手動チャンネル設定	チャンネル設定リスト
	自動チャンネル設定	「実行」、「中止」
視聴予約　（65ページ）	●視聴予約メニュー	
	タイマー予約登録	タイマー予約登録
	予約一覧	予約の編集、取消
お知らせ　（69ページ）	●お知らせメニュー	
	リスト（未読・タイトル）表示	詳細表示
その他の設定　（71ページ）	●その他の設定メニュー	
	入力端子の設定	チューナー（地上アナログ放送／地上デジタル放送） ビデオ１、２、３端子、PC端子 入力端子設定初期化
	字幕設定	「切」、「言語１」、「言語２」
	文字スーパー設定	「切」、「言語１」、「言語２」
	時計表示	「連動表示」、「固定表示」
	低消費電力モード	「入」、「切」
	無操作オートパワーオフ	「入」、「切」
	無信号オートパワーオフ	「入」、「切」
	B-CASカードID番号	
	バージョン	
	全ての設定を出荷状態に戻す	「はい」、「いいえ」

※1 設定条件により選択できない項目があります（グレーで表示されます）。
※2 入力フォーマットにより調整範囲が異なります。

映像設定

メニュー画面で 映像設定アイコンを [∧] / [∨] **ボタン**で選び、[決定] **ボタン**を押します。
画面右側にはサブメニューが表示されます。

サブメニューから [∧] / [∨] **ボタン**で設定したい項目を選択し、[決定] **ボタン**を押します。
それぞれ、[<] / [>]（または [∧] / [∨]）**ボタン**で設定内容を変更できます。

映像モード

映像モードを切り換えます。
コントラスト、明るさ、色の濃さ、色あい、シャープネスの設定は各映像モードごとに記憶されます。

モード	設定内容
あざやか	鮮やかで明るい映像
スタンダード	標準的な映像
ユーザー	ユーザーのお好み設定用
シネマ	映画を見るのに適した映像

コントラスト

画面の明暗の差を調節します。

明るさ

画面の明るさを調節します。

色の濃さ

画面の色の濃さを調節します。

色合い

画面の色合いを調節します。

色温度

高・中・低と切り換えるにつれて、
赤みがかった暖かみのある色調になります。

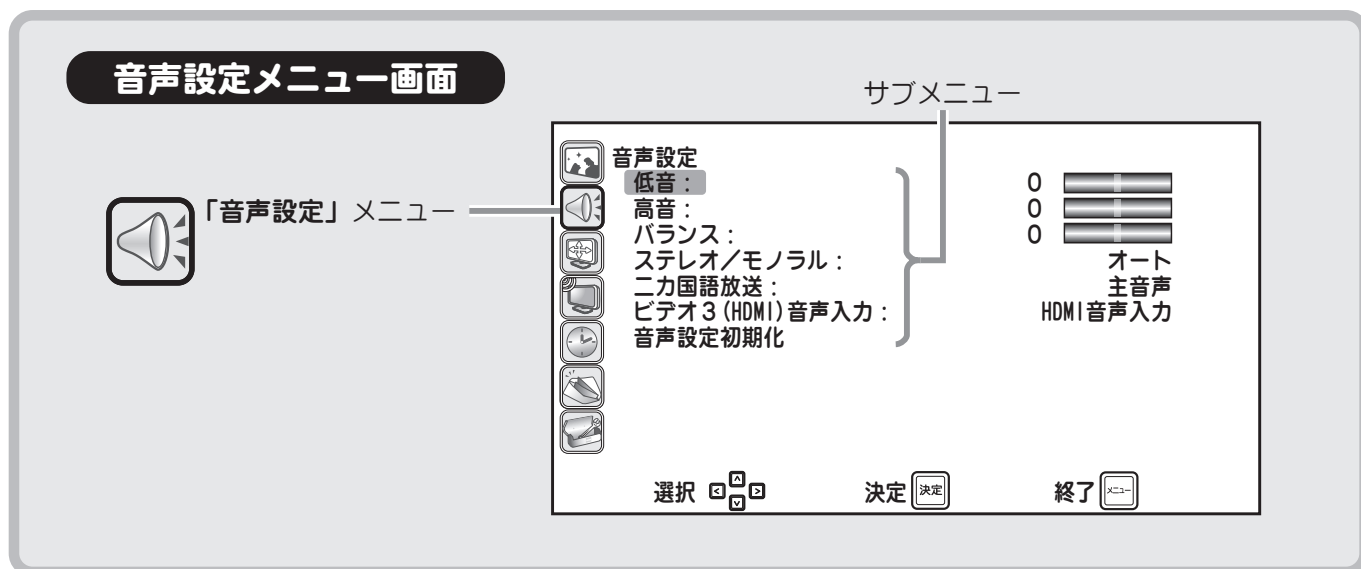
シャープネス

画面の輪郭を調節します。

映像設定初期化

[決定] **ボタン**を押すと、設定中の映像モードに関わる全項目が工場出荷時の設定に戻ります。

音声設定

メニュー画面で音声設定アイコンを [∧] / [∨] **ボタン**で選び、[決定] **ボタン**を押します。
画面右側にはサブメニューが表示されます。

サブメニューから [∧] / [∨] **ボタン**で設定したい項目を選択し、[決定] **ボタン**を押します。
それぞれ [∧] / [∨] **ボタン**（または [<] / [>] **ボタン**）で設定内容を変更できます。

低　音

低音域の強調度を設定します。

高　音

高音域の強調度を設定します。

バランス

左右スピーカーの音量のバランスを設定します。
値が小さいほど左スピーカー寄りに、大きいほど右スピーカー寄りになります。

ステレオ／モノラル

地上アナログ放送のみ、ステレオ / モノラル出力の設定ができます。

設 定	放送状態	テレビ音声出力
オート	モノラル放送	モノラル出力
	ステレオ放送	ステレオ出力
モノラル	モノラル放送	モノラル出力
	ステレオ放送	

音声設定（つづき）

二カ国語放送（主音声・副音声・主音声 / 副音声）

二カ国語放送や主・副音声の設定を行います。
この設定は音声切換**ボタン**を押しても変更することができます（☞43 ページ）。
※外部入力選択時はこのメニューを選択できません。

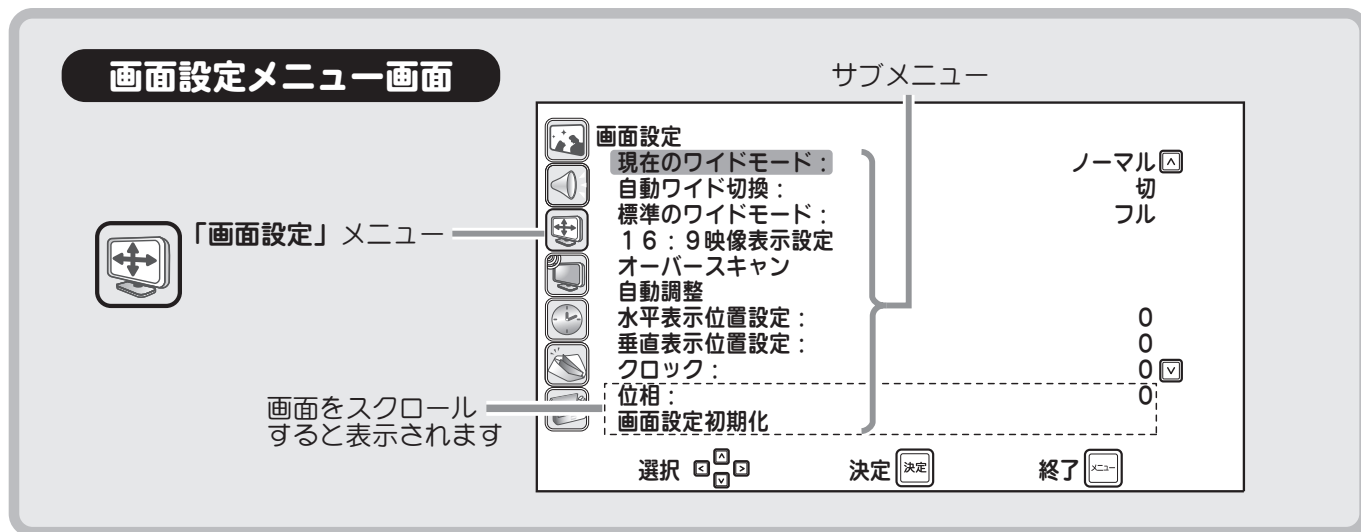
ビデオ 3（HDMI）音声入力

HDMI 入力端子に接続している外部機器を視聴するときの入力音声の設定を行います。
選択した入力端子に接続した機器からの音声を出力します。
「HDMI」を選ぶと、HDMI 入力端子に接続されている外部機器からの音声を出力します。
「ビデオ 1」、「ビデオ 2」または「PC 音声入力」のいずれかを選ぶと、選択した入力端子に接続されている外部機器からの音声を出力します。
※設定された音声入力端子に機器が接続されていないと音声は出力されません。

音声設定初期化

決定 **ボタン**を押すと、工場出荷時の設定に戻ります。

画面設定

メニュー画面で画面設定アイコンを ∧ / ∨ **ボタン**で選び、決定 **ボタン**を押します。
画面右側にはサブメニューが表示されます。

サブメニューから ∧ / ∨ **ボタン**で設定したい項目を選択し、決定 **ボタン**を押します。
それぞれ、∧ / ∨ **ボタン**で設定内容を変更できます。

現在のワイドモード

現在ご覧になっているチャンネル、またはビデオ入力映像のワイドモードをフル、ノーマル、パノラマ、ズーム、Dot by dot（PC 入力または DVI 接続の場合）に切り換えます。

※この設定は ワイド **ボタン**を押しても変更することができます（☞45 ページ）。

※フル・ノーマル・パノラマ・ズーム・Dot by dot の各表示イメージについては 45 ページをご覧ください。

自動ワイド切換

自動ワイド切換を「入」にすると、映像信号に縦横比情報が検出された場合、自動ワイド切換機能が働きます。

※入力切換で PC 入力を選択している場合は、設定できません。

ID-1 縦横比	動　作
4 : 3	標準モード設定に従います。
Letter Box	ズーム画面表示となります。
16 : 9	フル画面表示となります。

標準のワイドモード

ワイド情報のない映像信号を受信したときの表示モードを設定できます。
∧ / ∨ **ボタン**で「フル」「ノーマル」「パノラマ」「ズーム」「切」のいずれかを選びます。

※フル・ノーマル・パノラマ・ズームの各表示イメージについては 45 ページをご覧ください。

※自動ワイド切換が「切」に設定されている場合は、最後に設定したワイドモードで表示されます。

ご参考

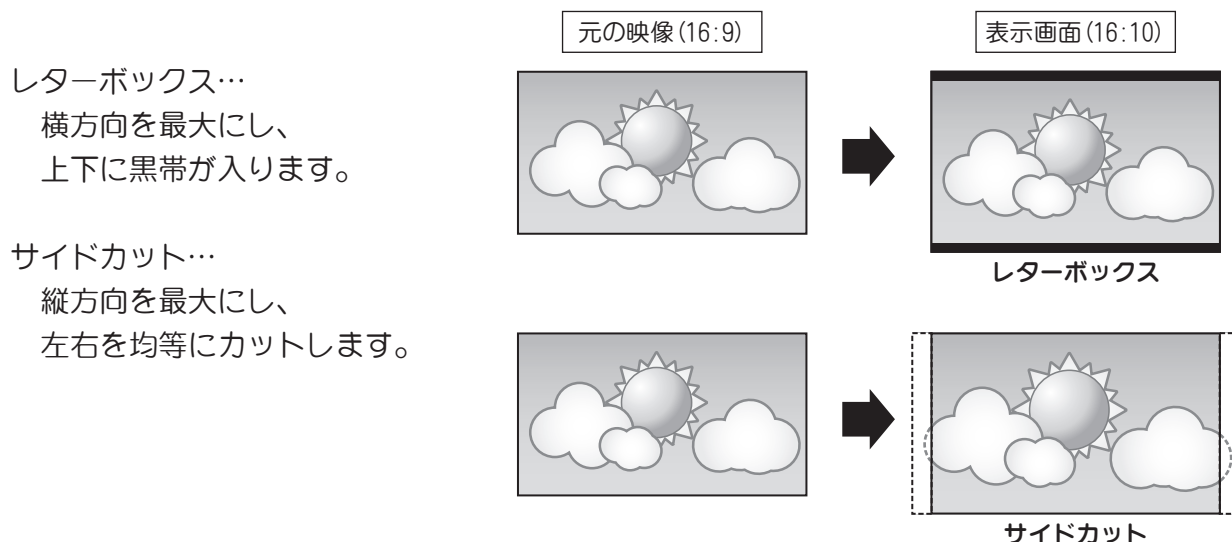
- 自動ワイド切換が「切」のときはこのメニューを選択できません。
- PC 入力では設定できません。

画面設定（つづき）

16:9 映像表示設定

本機の画面（アスペクト比 16:10）に、アスペクト比 16:9 の映像を表示する際の表示方法を設定します。

レターボックス…
横方向を最大にし、
上下に黒帯が入ります。

サイドカット…
縦方向を最大にし、
左右を均等にカットします。

[∧] / [∨] **ボタン**で設定する入力端子を選んで [決定] **ボタン**を押し、[∧] / [∨] **ボタン**で「レターボックス」または「サイドカット」を選び、 [決定] **ボタン**を押します。

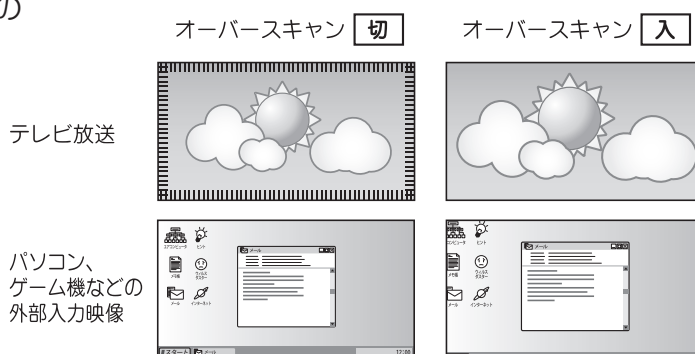
※設定をすべて初期状態に戻すには、[∧] / [∨] **ボタン**で「16:9 映像表示設定初期化」を選んで [決定] **ボタン**を押してください。

オーバースキャン設定

放送局からは実際のテレビ画面よりも少し大きめの映像信号が送出されており、画面の縁の部分には不要な信号（データなど）があります。
オーバースキャン設定を「入」にすると、それらの不要な部分をカットして画面に映らないようにします。
パソコンやゲーム機など画面の縁いっぱいまで映像があるものは、オーバースキャン設定を「切」にしてください。

オーバースキャン 切

テレビ放送

パソコン、
ゲーム機などの
外部入力映像

・通常のテレビ放送を見る場合 ....「入」を選びます。
・パソコンやゲーム機等の機器を接続する場合 ....「切」を選びます。

[∧] / [∨] **ボタン**で設定する入力端子を選んで [決定] **ボタン**を押し、[∧] / [∨] **ボタン**で「入」または「切」を選び、 [決定] **ボタン**を押します。

※設定をすべて初期状態に戻すには、[∧] / [∨] **ボタン**で「オーバースキャン設定初期化」を選んで [決定] **ボタン**を押してください。

画面設定（つづき）

自動調整

入力切換で「PC 入力」を選択しているときに画面が最適な状態になるよう自動調整します。

∧ / ∨ **ボタン**で「自動調整」を選び、決定 **ボタン**を押します。
「開始」を選んで 決定 **ボタン**を押します。
※PC 入力を選択しているときに、本機が対応している映像信号を入力しても、チラツキやノイズなどが出ることがあります。その場合は、クロックや位相を調整してください。

水平表示位置設定

PC 入力を選択しているときに、画面位置を左右に調整できます。

垂直表示位置設定

PC 入力を選択しているときに、画面位置を上下に調整できます。

クロック

PC 入力の水平方向の周波数を調整できます。

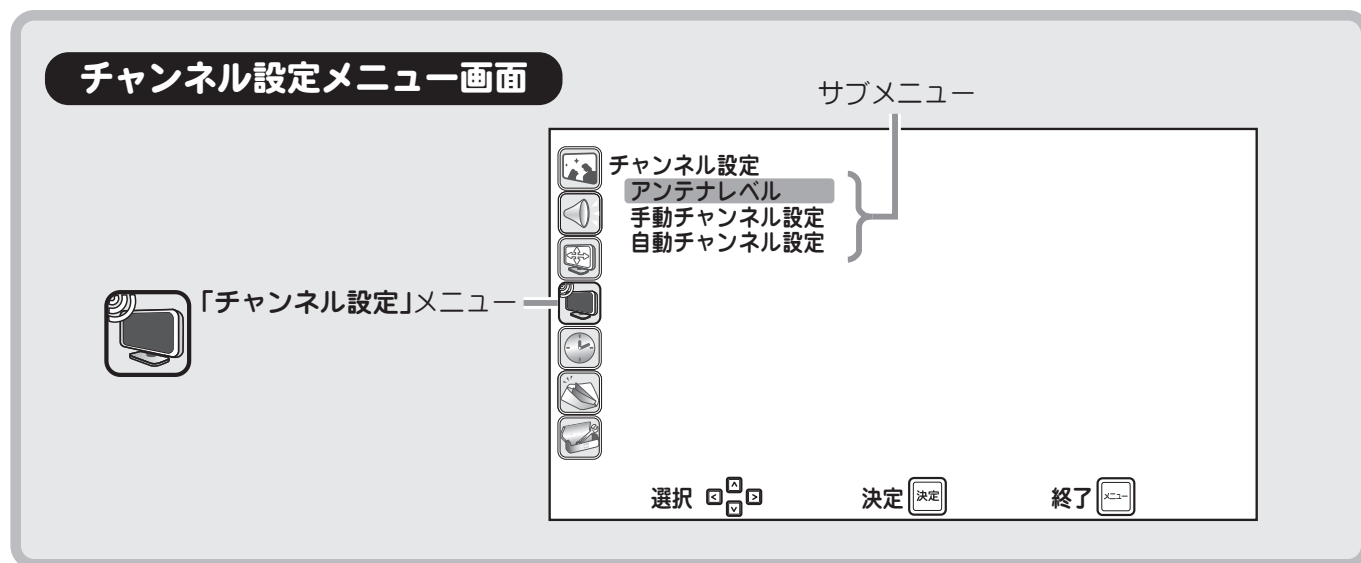
位　相

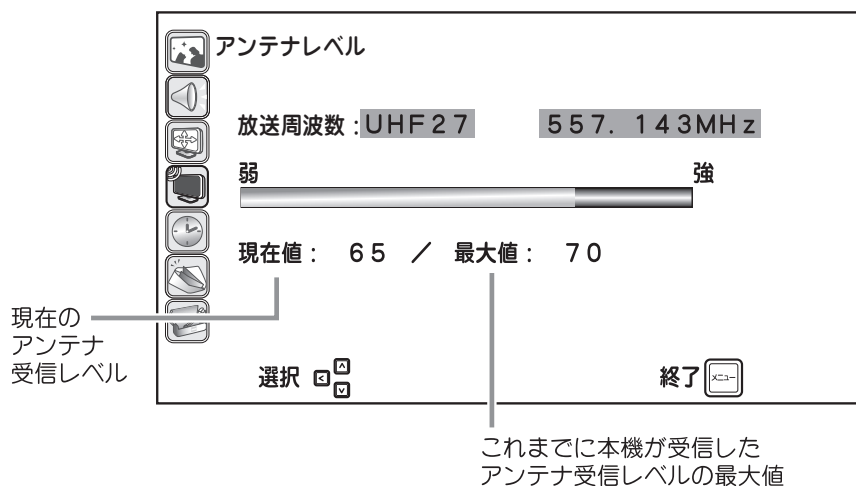
PC 入力の水平方向の位相を調整できます。

画面設定初期化

決定**ボタン**を押すと、工場出荷時の設定に戻ります。

チャンネル設定

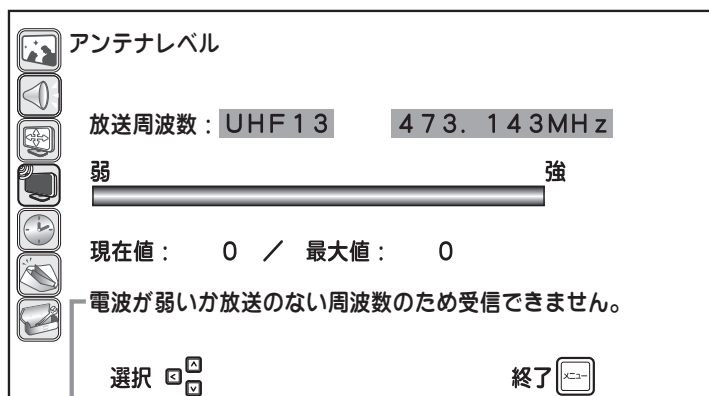
メニュー画面でチャンネル設定アイコンを [∧] / [∨] **ボタン**で選び、[決定] **ボタン**を押します。
画面右側にはサブメニューが表示されます。

アンテナレベル（地上デジタル放送のみ）

チャンネル設定サブメニューで「アンテナレベル」を選択すると、下記の画面が表示されます。
現在ご覧になっているチャンネルのアンテナが受信している電波強度を確認することができます。

このメニューでは、受信レベルを確認するだけで数値の変更はできません。
数値が極端に低く、画質が悪いときは、アンテナの向きを変更するなど設置条件を変更してください。

※受信レベルは 55* 以上となるようにしてください。

* 数値は目安です。チャンネルによっては受信できない場合もあります。

▌チャンネル設定（つづき）

電波が受信できない場合は、表示画面下側に以下のように表示されます。

手動チャンネル設定

手動チャンネル設定は、初期設定で自動的に割り当てられたリモコンボタンのチャンネル設定を変更するときに行います。
サブメニューで手動チャンネル設定を選択し、[決定] **ボタン**を押すと、選局ポジション**（地上アナログ放送：1～24、地上デジタル放送：1～20）**に登録されているチャンネルを設定できます。

■地上アナログ放送のチャンネル設定（24チャンネル設定できます）

1 [放送切換] **ボタン**を押して、地上アナログ放送へ切り換えてから設定します。

ボタン	受信CH	表示CH	受信／スキップ
1	1	1	受信
2	2	62	受信
3	14	14	受信
4	4	4	受信
5	5	5	スキップ
6	C16	C16	受信
7	7	7	受信
8	8	8	スキップ
9	9	9	受信
10	10	10	受信
11	11	11	受信
12	12	12	受信
：	：	：	：
－－	24	24	スキップ

チャンネル設定（つづき）

2 ∧/∨**ボタン**で編集したいボタン番号を選び、</>**ボタン**で「受信 CH」、「表示 CH」、または「受信／スキップ」を選択し、数字ボタン（11、12 を除く）または ∧/∨**ボタン**を使って設定値を変更します。

受信 CH・表示 CH：数字ボタン（11、12 を除く）または ∧ / ∨ **ボタン**で変更できます。

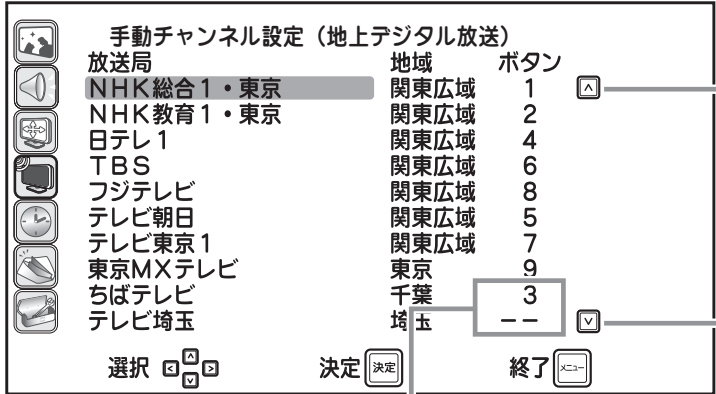
※数字ボタンの使用例

1ch を選択する場合　：　10/0 1 **ボタン**を続けて押します。

16ch を選択する場合：　1 6 **ボタン**を続けて押します。

∧ **ボタン**を押すと 1ch…→ 62ch…→ C13ch…→ C63ch…→ 1ch と変わり、

∨ **ボタン**を押すと逆方向に変わります。

受信／スキップ　：∧ / ∨ **ボタン**を押すと「受信」と「スキップ」交互に切り換わります。

3 メニュー **ボタン**を押すとメニューを終了します。

※外部入力選択時は手動チャンネル設定メニューを選択できません。

※編集したいボタン番号の選択は、カーソルがボタン番号にあるときのみ可能です。

■地上デジタル放送のチャンネル設定（20 チャンネル設定できます）

1 放送切換 **ボタン**を押して、地上デジタル放送へ切り換えてから設定します。

2 ∧/∨**ボタン**で設定変更したい放送局を選び、決定 **ボタン**を押します。
次に∧/∨**ボタン**で割り当てるボタンの数字を選び、決定 **ボタン**を押します。

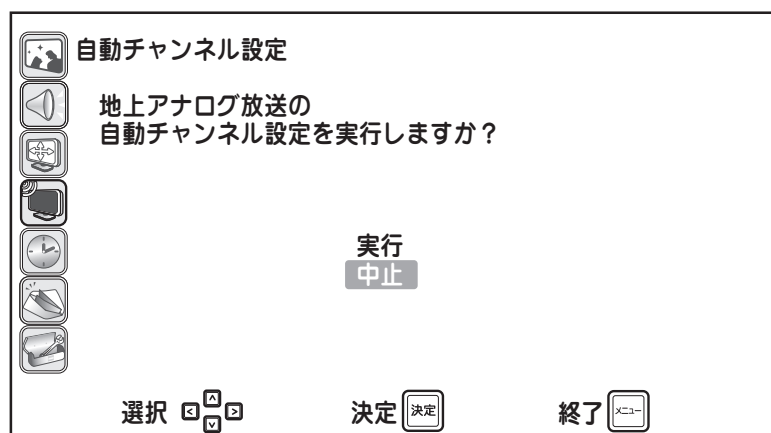
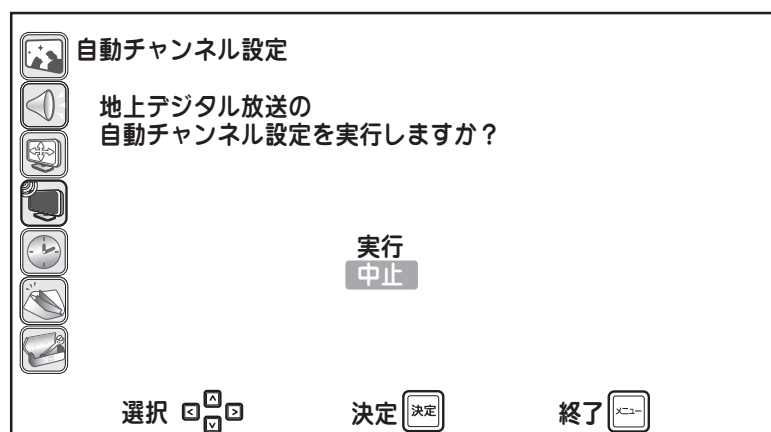
3 メニュー **ボタン**を押すとメニューを終了します。

チャンネル設定（つづき）

自動チャンネル設定

自動チャンネル設定は、初期設定でチャンネルが受信できなかったときや、引越しで受信地域が変わったとき、新たに放送局が開局したりしてチャンネルが増えた場合に行います。

サブメニューで自動チャンネル設定を選択し、決定 **ボタン**を押すと、以下のメッセージが表示され、自動チャンネル設定の実行・中止を選択できます。画面は最初、中止が選択されています。
∧ / ∨ **ボタン**で「実行」を選択し、決定 **ボタン**を押すと受信チャンネルの自動スキャンを開始します。

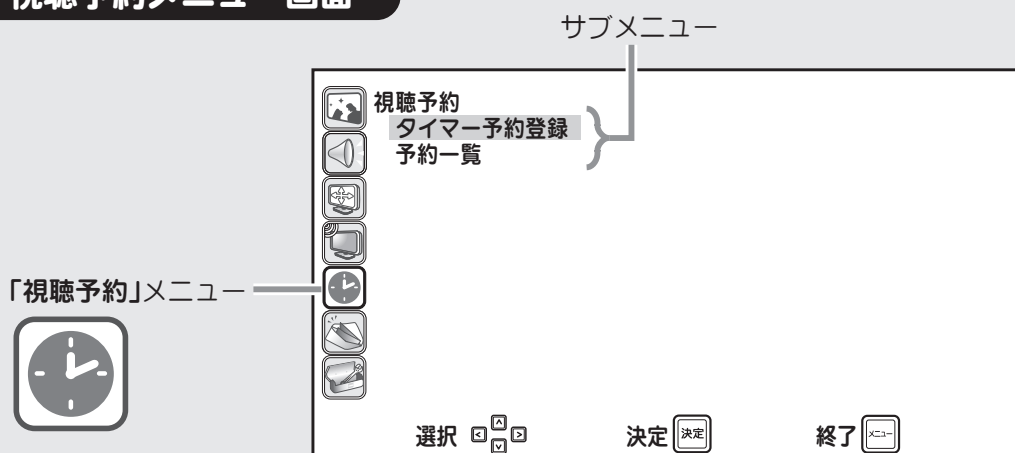
■地上アナログ放送の設定画面

■地上デジタル放送の設定画面

※自動チャンネル設定については、「初期設定をする」（☞22 ページ）をご覧ください。
※外部入力選択時は自動チャンネル設定メニューを選択できません。

視聴予約（タイマー予約）

電子番組表で行う視聴予約は番組単位での予約ですが、タイマー予約登録では、日付と時刻をお好みで指定して予約することができます。例えば、同一チャンネルで放送される複数の番組を続けて視聴したいときなどにお使いいただけます。

※地上デジタル放送番組にのみお使いいただける機能です。地上アナログ放送番組の視聴予約はできません。

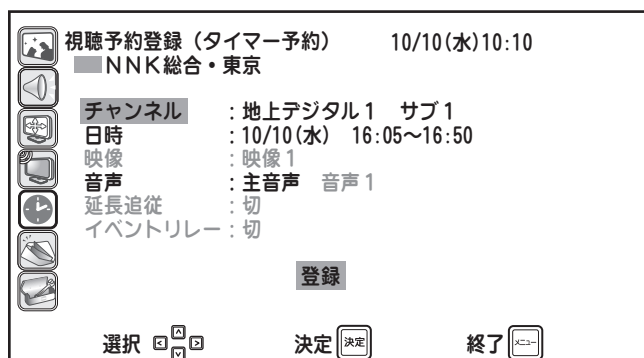
※電子番組表での視聴予約については、「番組表から視聴予約する」（☞34 ページ）をご覧ください。

視聴予約メニューを表示するには、第 1 階層のメニュー画面で「視聴予約」を [∧] / [∨] **ボタン**で選んで [決定] **ボタン**を押します。画面右側には第 2 階層のサブメニューが表示されます。

視聴予約をする（タイマー予約登録）

1 [∧] / [∨] **ボタン**で「タイマー予約登録」を選んで [決定] **ボタン**を押すと、視聴予約登録画面が表示されます。

2 各項目を設定します。

※ 番組によって選択できない項目があります。（選択できる項目のみ設定できます。）

設定および登録の方法は「番組表から視聴予約する」（☞34 ページ）と同様です。

「チャンネル」: チャンネルを設定します。
※番組表からの予約とは異なり、番組名の表示や登録は行われません。

「日時」　: 予約を開始・終了する日付と時間を設定します。

「音声」　: 二ヶ国語放送や複数音声番組の場合、音声を切り換えることができます。

視聴予約（タイマー予約）（つづき）

視聴予約をする（タイマー予約登録）（つづき）

3 設定が終わったら [∧] / [∨] **ボタン**または [<] / [>] **ボタン**で「登録」を選択し、[決定] **ボタン**を押します。

正しく予約登録が完了しないときは

■番組がすでに開始されている

登録する視聴予約の開始時刻が過ぎているときに表示されます。

[<] **ボタン**を押すと、前の画面に戻ります。

番組を視聴するには「視聴開始」を選んで [決定] **ボタン**を押すと、番組画面が表示されます。

■番組がすでに終了している

登録する視聴予約の終了時刻が過ぎているときに表示されます。

[決定] **ボタン**を押すと、設定画面に戻ります。

■同じ日時にすでに予約が登録されている（重複予約）

すでに登録されている視聴予約の内容が一覧表示されます。

[<] **ボタン**を押すと、前の画面に戻ります。

そのまま登録する場合は、[決定] **ボタン**を押します。

※この場合、登録が完了しても予約が正しく機能しない（選局されない）場合があります。

※重複予約について詳しくは「重複予約の視聴」（☞ 37 ページ）をご覧ください。

予約一覧と予約の編集・取消

登録されている視聴予約を一覧で確認できます。また、予約の編集や取り消しをすることができます。
※予約一覧は番組表のポップアップメニューからも見ることができます（☞38ページ）。

■視聴予約一覧を見る

視聴予約のサブメニュー画面から［∧］/［∨］**ボタン**で「予約一覧」を選んで［決定］**ボタン**を押すと、視聴予約一覧が表示されます。

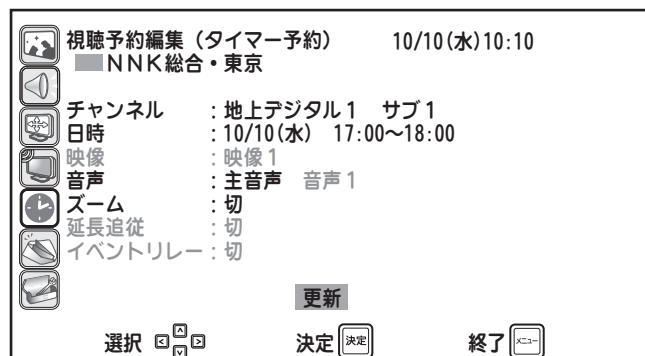
ご注意

- **予約の重複について**
  灰色の文字で表示されている視聴予約は予約が重複しており、視聴予約が正しく機能しません。「重複予約の視聴」（☞37ページ）を参照の上、設定内容を再度ご確認ください。

お知らせ

- タイマー予約（視聴予約メニューからの予約）には番組名が表示されません。
- 予約件数が画面表示件数を超える場合には右側にスクロールバーが表示されます。
  ［∧］/［∨］**ボタン**でスクロールできます。
- 予約実行時間となったときに本機背面の主電源がオフだったり、電源プラグが抜けていたなど、何らかの理由で予約が実行できなかった場合、その予約は予約一覧から削除されます。「お知らせ」にはその旨のメッセージが表示されます（☞69ページ）。

■視聴予約を編集する

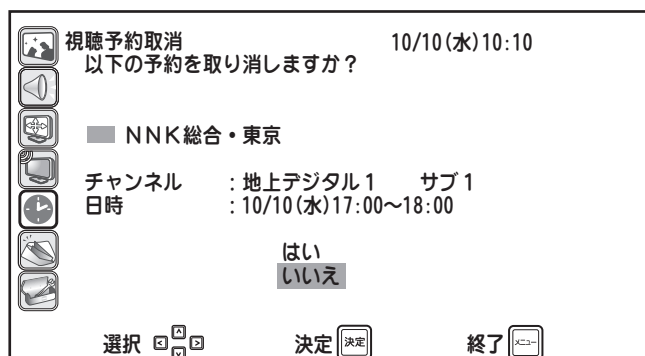
1 視聴予約一覧から編集したい視聴予約を選んで（緑色表示）［決定］**ボタン**を押すと、ポップアップメニューが表示されます。

視聴予約（タイマー予約）（つづき）

予約一覧と予約の編集・取消（つづき）

2 ∧ / ∨ **ボタン**で「編集」を選んで 決定 **ボタン**を押すと、設定画面が表示されます。

編集のしかたや設定内容については「視聴予約をする」手順2（☞65ページ）をご覧ください。

3 設定が終わったら ∧ / ∨ または ＜ / ＞ **ボタン**で「更新」を選び、決定 **ボタン**を押します。
終了するには メニュー **ボタン**を押します。

■視聴予約を取り消す

1 視聴予約一覧から取り消したい視聴予約を選んで（緑色表示） 決定 **ボタン**を押すと、ポップアップメニューが表示されます。

2 ∧ / ∨ **ボタン**で「取消」を選んで 決定 **ボタン**を押すと、予約取消確認画面が表示されます。

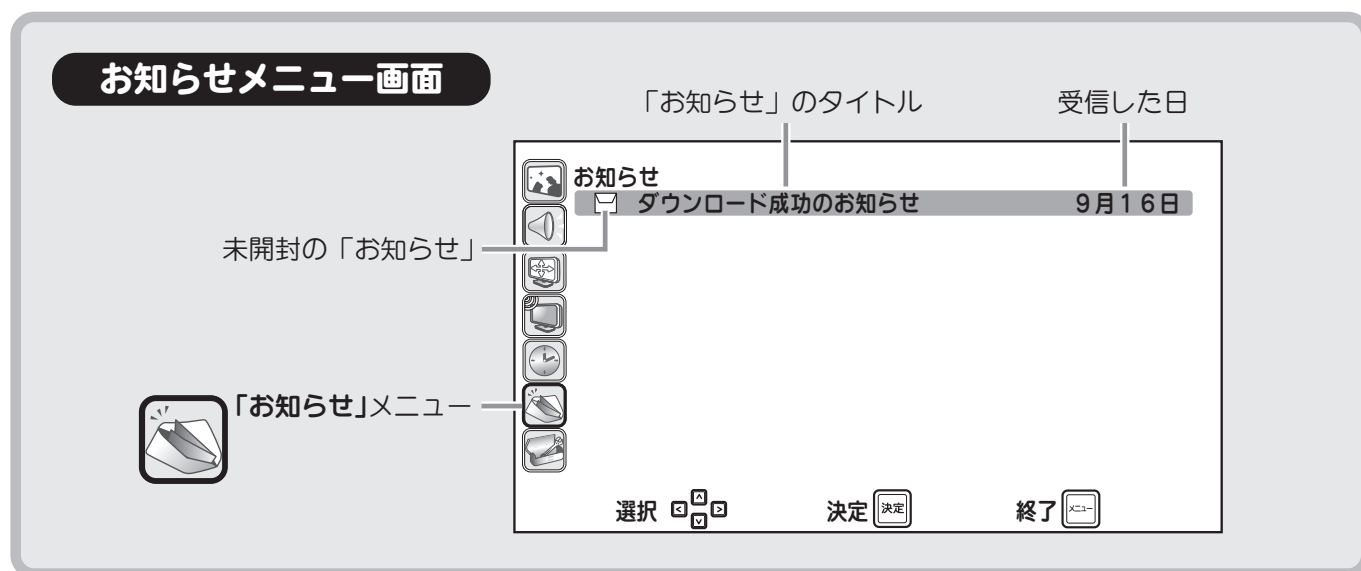
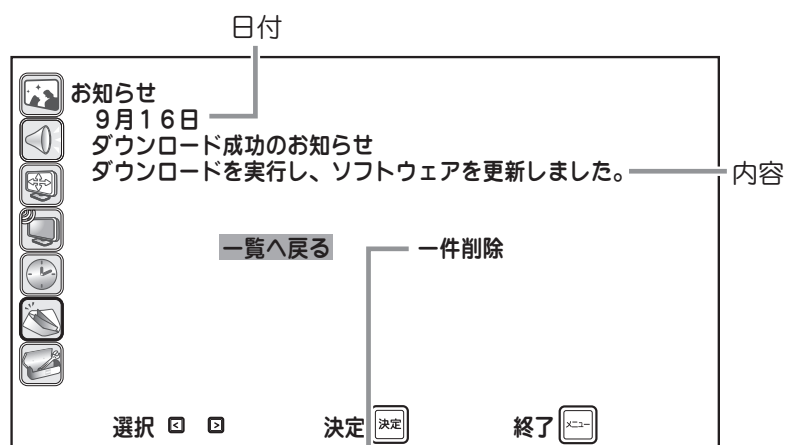
∧ / ∨ **ボタン**で「はい」を選んで 決定 **ボタン**を押すと、視聴予約が取り消されます。

メニュー **ボタン**を押すと終了します。

視聴予約機能ご使用時のご注意

●視聴予約の実行に失敗したときは、「お知らせ」にメッセージが追加されます。
●視聴予約の実行中、他のチャンネルに切り換えたり、入力を切り換えた場合は視聴予約を中止します。
（画面左下に「視聴予約を中断しました」と表示されます。）

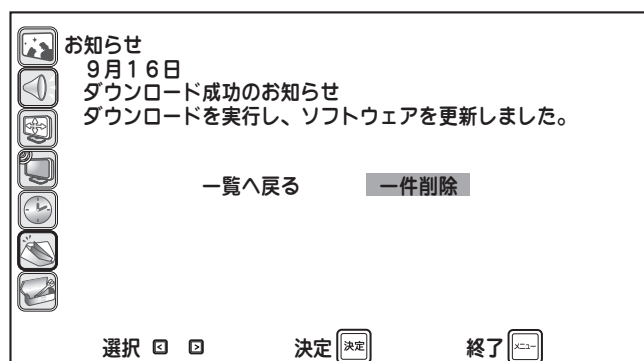
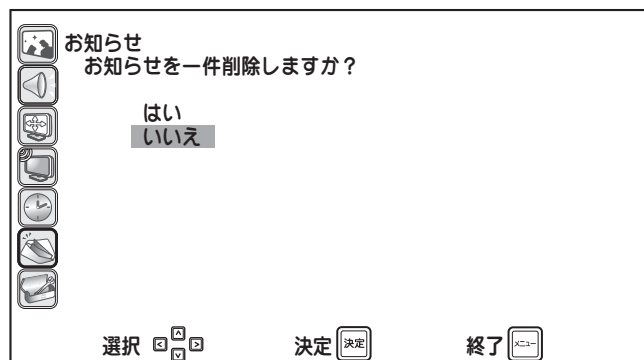
お知らせ

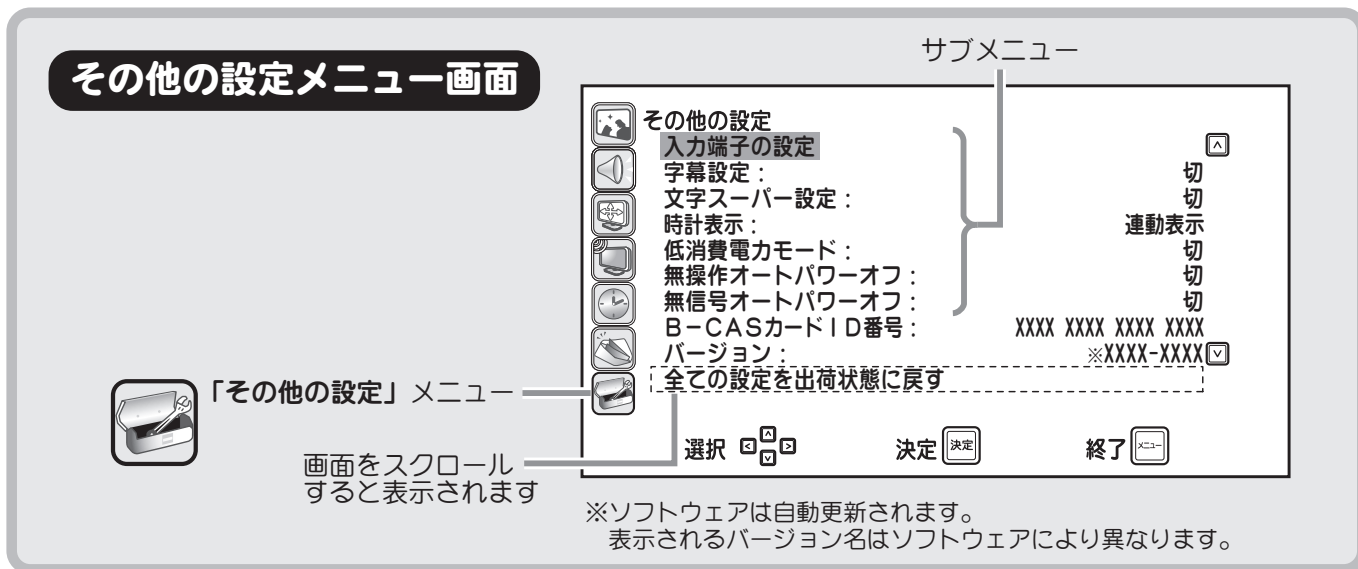
本機に未読のお知らせがあるときは、電源を入れた際に画面左下に「お知らせがあります」というメッセージがしばらく表示されます。
[メニュー] **ボタン**を押し、[∧] / [∨] **ボタン**で「お知らせ」を 選ぶと一覧が表示されます。
※お知らせが 1 件もない場合は「お知らせはありません」と表示されます。

一覧から [∧] / [∨] **ボタン**で表示したい項目を選択し、[決定] **ボタン**を押すとその詳細が表示されます。

- お知らせは最大 32 件まで保存されます。32 件を超えて新たに受信した場合は、一番古いお知らせから削除されます。

各種設定のしかた

お知らせ（つづき）

■お知らせを削除する

1. 削除したいお知らせの詳細画面を表示し、「一件削除」を選んで 決定 **ボタン**を押します。

2. ∧ / ∨ **ボタン**で「はい」を選んで 決定 **ボタン**を押すとお知らせが削除され、お知らせメニュー画面に戻ります。

その他の設定

メニュー画面でその他の設定アイコンを [∧] / [∨] **ボタン**で選び、[決定] **ボタン**を押します。
画面右側にはサブメニューが表示されます。

入力端子の設定

サブメニューで「入力端子の設定」を選択し、[決定] **ボタン**を押すと、外部映像・音声入力端子の名称を変更できます。
また、入力切換時に内蔵のチューナー（地上アナログ放送および地上デジタル放送）や外部入力をそれぞれスキップ状態にすることもできます。

■外部入力端子の画面表示名を変える

入力切換の際に画面に表示される入力端子名（ビデオ 1、2 など）を、お使いの外部機器名に合わせて変えることができます。

[∧]/[∨]**ボタン**で名称変更する入力端子を選択して [決定] **ボタン**を押し、[∧]/[∨]**ボタン**で名称を変えます。
名称は次の表から選択できます。

画面表示	割り当て例
---	未設定（標準名称「ビデオ 1」「ビデオ 2」使用）
DVD	DVD プレーヤー・レコーダー
DVD1	
DVD2	
VTR	ビデオテープレコーダー
VTR1	
VTR2	
HDD レコーダー	ハードディスクレコーダー
HDD レコーダー 1	
HDD レコーダー 2	
BS/CS	衛星放送
CATV	ケーブルテレビ（セットトップボックス、ホームターミナル）
ゲーム	ゲーム機
ゲーム 1	
ゲーム 2	
PC	パソコン
スキップ	外部入力を無効にします。（入力切換時にスキップします。）

各種設定のしかた

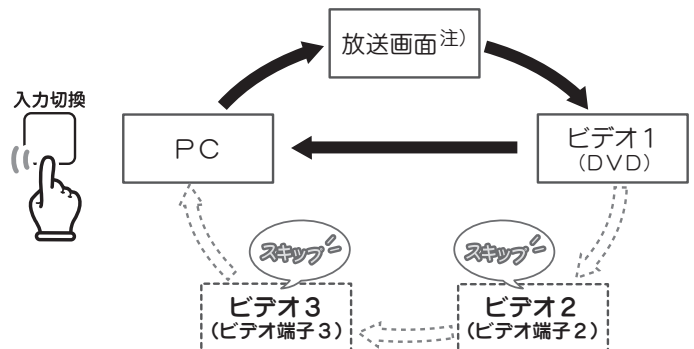
その他の設定（つづき）

入力端子の設定（つづき）

■使わないチューナーや外部入力をスキップする

入力切換の際に、お使いでない外部入力端子や内蔵のチューナー（地上アナログ放送および地上デジタル放送）をスキップすることができます。

下記のように設定した場合、入力切換 ボタンを押すごとに右図のように切り換わります。

例）		
チューナー（地上アナログ放送）	：	―――
チューナー（地上デジタル放送）	：	―――
ビデオ端子1	：	DVD
ビデオ端子2	：	**スキップ**
ビデオ端子3	：	**スキップ**
PC	：	―――

注）地上アナログ放送/地上デジタル放送のうち、現在視聴中のいずれか1つが表示されます。（本体前面のVIDEOボタンを押して切り換えた場合は、すべての放送が表示されます。）

設定するにはスキップさせたいチューナーまたは入力端子を選んで 決定 **ボタン**を押すと、ポップアップが表示されます。「スキップ」を選んで 決定 **ボタン**を押します。

※ メニュー **ボタン**を押すとメニューを終了します。

※設定をすべて初期状態（―――）に戻すには、∧ / ∨ **ボタン**で「入力端子設定の初期化」を選択し、決定 **ボタン**を押してください。

字幕設定

字幕表示の設定を行います。

・切：　表示しない
・言語1：　言語1を表示
・言語2：　言語2を表示

∧ / ∨ **ボタン**で選択し、決定 **ボタン**で設定します。

文字スーパー設定

文字スーパーの表示設定を行います。

・切：　表示しない
・言語1：　言語1を表示
・言語2：　言語2を表示

∧ / ∨ **ボタン**で選択し、決定 **ボタン**で設定します。

時計表示

地上デジタル放送視聴時に表示される現在時刻の表示方法を設定します。

・固定表示：　常に画面右下に表示する
・連動表示：　画面表示 **ボタン**（☞41ページ）を押すたびに表示・非表示が切り換わる

∧ / ∨ **ボタン**で選択し、決定 **ボタン**で設定します。

その他の設定（つづき）

低消費電力モード

低消費電力モードの入・切を設定します。
「入」に設定すると、表示中の画面の明るさを抑えて本機の消費電力を低減します。
※低消費電力モードにすると、画面が多少暗くなります。

・入： 設定する
・切： 設定しない

∧ / ∨ **ボタン**で選択し、決定 **ボタン**で設定します。

無操作オートパワーオフ

一定時間何も操作が行われないと自動的に本機の電源をオフにする機能です。
本機能を設定すると、リモコンまたは本体操作ボタンを操作しない時間が 3 時間を過ぎると、自動的に本機の電源がオフ（スタンバイ状態）になります。

・入： オートパワーオフに設定する
・切： オートパワーオフに設定しない

∧ / ∨ **ボタン**で選択し、決定 **ボタン**で設定します。

無信号オートパワーオフ

入力切換（☞48 ページ）で選んだ外部入力機器からの信号が検出されないとき、自動的に本機の電源をオフにする機能です。
本機能を設定すると、選択している外部入力端子からの無信号状態が 15 分を過ぎると、自動的に本機の電源がオフ（スタンバイ状態）になります。

・入： オートパワーオフに設定する
・切： オートパワーオフに設定しない

∧ / ∨ **ボタン**で選択し、決定 **ボタン**で設定します。

B-CAS カード ID 番号

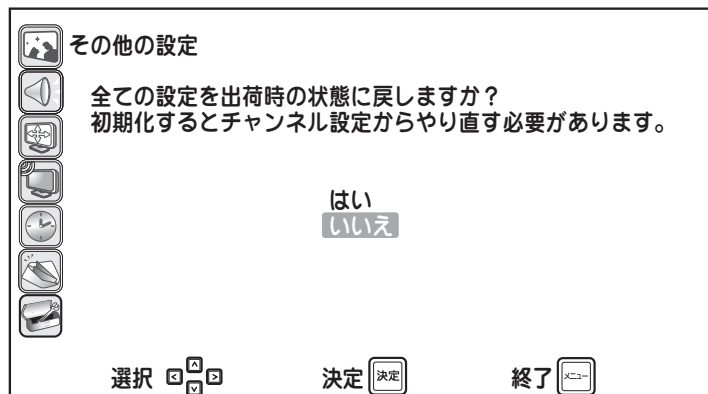
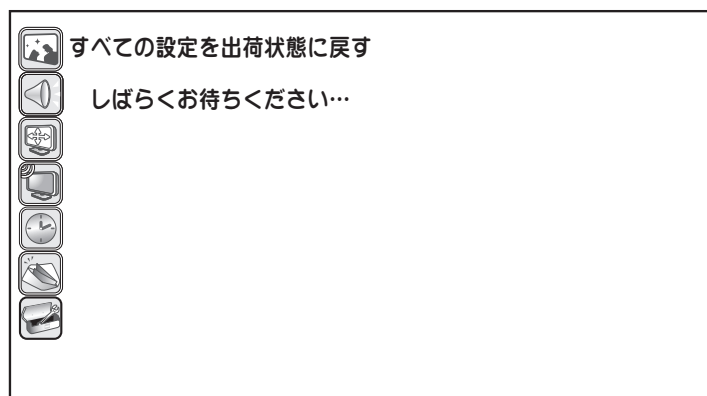
B-CAS カード ID 番号を表示します。

バージョン

ソフトウェアのバージョンを表示します。

その他の設定（つづき）

全ての設定を出荷状態に戻す（工場出荷時設定に戻す）

本機のすべての設定を工場出荷時の設定に戻します。

[∧] / [∨] **ボタン**で「はい」を選択し、[決定] **ボタン**を押すと初期化を開始します。

初期化が完了すると、初期設定前の状態（☞22 ページ）になります。

- 初期化には数秒かかります。
- 初期化中はすべてのボタン操作ができません。
- 初期化中は、絶対に電源プラグを抜かないでください。

各種設定のしかた

第５章

ご参考

おもな仕様

<table>
<tr><td colspan="3">品　　名</td><td>液晶カラーテレビ</td></tr>
<tr><td colspan="3">受信機型サイズ</td><td>19V</td></tr>
<tr><td rowspan="4">液晶パネル</td><td colspan="2">画面サイズ</td><td>縦約 25.5cm ×横約 40.8cm</td></tr>
<tr><td colspan="2">表示方法</td><td>透過型 TN 液晶</td></tr>
<tr><td colspan="2">駆動方式</td><td>TFT アクティブマトリックス方式</td></tr>
<tr><td colspan="2">解像度</td><td>横 1440 ×縦 900</td></tr>
<tr><td colspan="3">使用光源</td><td>内部光（蛍光管内蔵）</td></tr>
<tr><td colspan="3">受信チャンネル</td><td>地上アナログ：VHF（1 ～ 12）、UHF（13 ～ 62）、CATV（1 ～ 12、C13 ～ C63）
地上デジタル：VHF（1 ～ 12）、UHF（13 ～ 62）、CATV（C13 ～ C63）</td></tr>
<tr><td colspan="3">対応映像フォーマット</td><td>480i, 480p, 1080i, 720p, 1080p</td></tr>
<tr><td colspan="3">スピーカー</td><td>3 cm × 10 cm 長円（2 個）</td></tr>
<tr><td colspan="3">音声実用最大出力</td><td>総合 6 W（3 W + 3 W）</td></tr>
<tr><td colspan="3">接続端子</td><td>電源端子、ヘッドフォン出力端子、VHF/UHF アンテナ入力端子、ビデオ入力 2 系統、
HDMI 入力 1 系統、D 端子入力 1 系統（ビデオ入力 1 共用）、PC 入力端子 1 系統</td></tr>
<tr><td colspan="3">使用電源</td><td>AC 100V・50/60Hz</td></tr>
<tr><td colspan="3">使用温度</td><td>0℃～ +40℃</td></tr>
<tr><td rowspan="2">消費電力</td><td colspan="2">地上波放送受信時</td><td>42W</td></tr>
<tr><td colspan="2">待機時</td><td>0.6W</td></tr>
<tr><td colspan="3">年間消費電力量（スタンダード時）</td><td>60kWh/ 年</td></tr>
<tr><td colspan="3">区分名</td><td>BEE</td></tr>
<tr><td rowspan="3">外形寸法</td><td rowspan="3">テーブルスタンド含む（一部突起を除く）</td><td>幅</td><td>45.8 cm</td></tr>
<tr><td>奥行</td><td>18.8 cm</td></tr>
<tr><td>高さ</td><td>38.9 cm</td></tr>
<tr><td colspan="3">本体質量</td><td>約 6 kg</td></tr>
</table>

- 年間消費電力量は、「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）」に基づき、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間（4.5 時間）を基準に算出した、1 年間に使用する電力量です。
- 区分名は、省エネ法でテレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態及び付加機能の有無等に基づき区分されたものです。
- 本機のメニュー画面や画面で表示されるフォントとして、株式会社リコーが製作したリコービットマップフォントを使用しています。
- パソコンの解像度について
  - ・本機では、下表の映像フォーマットに対応しています。
  - ・本機が対応している映像信号を入力しても、パソコンによっては正しく表示できない場合があります。

DVI 入力対応フォーマット

対応映像フォーマット（ピクセル）		水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）
VGA	640 × 480	31.5	60
SVGA	800 × 600	37.9	60
XGA	1024 × 768	48.4	60
WXGA	1280 × 768	47.8	60
WXGA+	1440 × 900	55.4	60
525p（480p）	720 × 480	31.5	60
750p（720p）	1280 × 720	45.0	60
1125p（1080p）	1920 × 1080	67.5	60

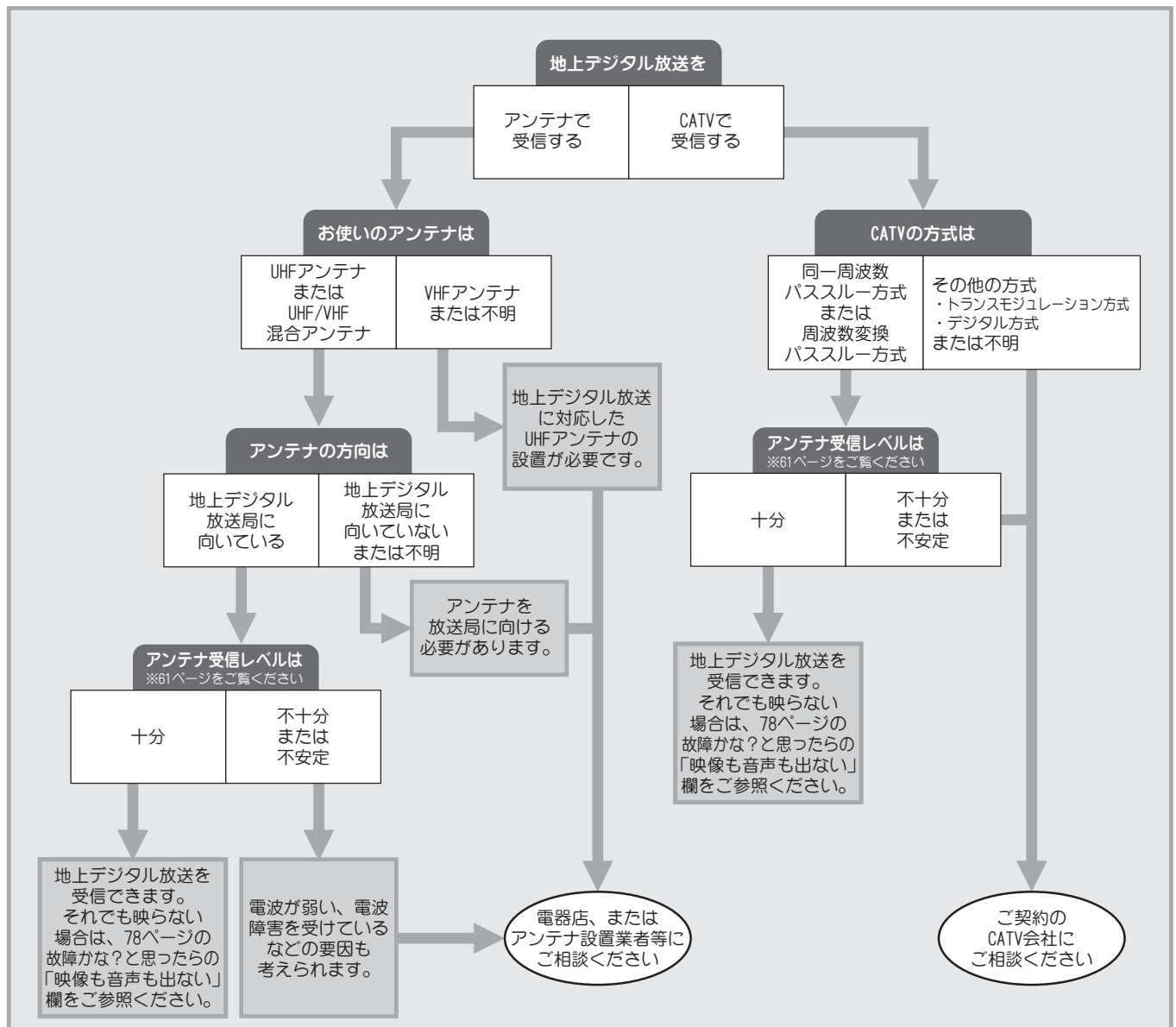
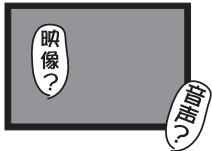
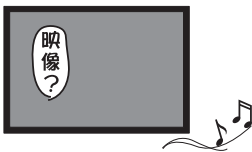
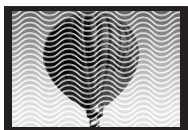
- 映像フォーマットが 525p、750p、1125p のときは、Dot by dot 表示（☞45 ページ）の選択ができません。

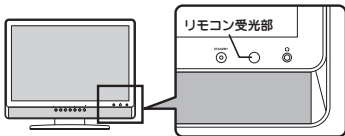
PC 入力対応フォーマット

対応映像フォーマット（ピクセル）		水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）
VGA	640 × 480	31.5	60
SVGA	800 × 600	37.9	60
XGA	1024 × 768	48.4	60
WXGA	1280 × 768	47.8	60
WXGA+	1440 × 900	55.4	60

- コンポジットシンクおよびシンクオングリーンには対応しておりません。

地上デジタル放送が受信できないときは

地上デジタル放送が正しく受信できない場合は、下記のフローチャートにしたがってお確かめください。
また、必要に応じて電器店、アンテナ設置業者、CATV 会社等にお問い合わせください。

- アンテナの設置や地上デジタル放送に対応したアンテナかどうかについて、詳しくは電器店やアンテナ設置業者等にご相談ください。
- CATV をお使いの場合、詳しくは各 CATV 会社にご相談ください。
- マンションなど集合住宅の場合、詳しくはお住まいの管理組合または管理会社等にご相談ください。
- 地上デジタル放送は 現在の地上アナログ放送との混信を避けるため、当初は非常に小さい出力で送信されますので受信エリアが限定されます。
- 受信障害のある環境では放送エリア内でも受信できないことがあります。
- 専用の UHF アンテナ、デジタル放送対応のブースター・分配器などの機器が必要なことがあります。
- 地上デジタル放送局からの送信出力が増大されたときは、アンテナやブースターなど受信設備の再調整や変更が必要になることがあります。
- 本機では地上デジタル放送の電波の送出の変更に関する情報、周波数変更、新規の変更などを電波を通じて受信すると、自動的にチャンネルの再設定を行います。再設定を行った場合は「お知らせメッセージ」にメッセージが追加されます。
- 地上アナログ放送などの電波の送出の変更については、新聞やテレビなどでの告知にご注意ください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に次のことをもう一度お調べください。
次のことを調べても、なお異常があるときは、お客様センターへお電話いただくか、
または当社ホームページよりお問い合わせください。（☞裏表紙をご覧ください）

こんなときには…	ここをご確認ください	ページ
映像も音声も出ない	●電源コードが正しく接続されていますか？ ●主電源スイッチはオンになっていますか？ ●リモコンまたは本体の電源ボタンを押しましたか？ ●アンテナは地上デジタル放送に対応していますか？ ●アンテナおよび各機器の接続は正しいですか？ ●映像・音声の各設定は正しいですか？	21 21 30 18 18～27 55～57
映像が出ない 外部入力映像が出ない	●明るさとコントラストは正しく調整されていますか？ ●ケーブルが正しく差し込まれているか確認してください。	55 26
音声が出ない	●音量調整が最小になっていませんか？ ●消音になっていませんか？ ●ヘッドフォンを差し込んだままになっていませんか？	30 30 49
映像も音声も出ない ノイズしか出ない	●アンテナケーブルが抜けていませんか？ ●放送のないチャンネルの電波を受信していませんか？	18 30
映りが悪い	●アンテナケーブルが抜けていませんか？ ●電波状態が悪いことが考えられます。	18 －
色合いが悪い 色が薄い	●色合い、色の濃さは正しく調整されていますか？	55

故障かな？と思ったら（つづき）

こんなときには…	ここをご確認ください	ページ
画面が暗い	●明るさ調整が低い段階に設定されていませんか？ ●明るさとコントラストは正しく調整されていますか？ ●蛍光管の寿命が考えられます。	55 55 82
映像が不鮮明 映像がゆれる	●電波状態が悪い場合が考えられます。 ●アンテナの方向がずれていませんか？ ●屋外アンテナのアンテナ線がはずれていませんか？	— — 18
画像が２重３重になる	●アンテナの方向がずれていませんか？ ●山やビルからの反射電波の影響も考えられます。	— —
画面にはん点が出る	●自動車・電車・高圧線・ネオンなどからの妨害電波の影響が考えられます。	10
色じま模様が出たり、 色が消える	●他の機器からの影響（妨害電波）を受けていませんか？また、ラジオ放送やアマチュア無線の送信アンテナが近くにある場合や、携帯電話の使用なども考えられます。 ●妨害電波を出していると考えられる他の機器から、なるべく離れた場所でお使いください。	12 —
映像が横長や縦長になる	●自動ワイド切換が「切」になっていませんか？入力信号に合わせてワイドモードを切り換えてください。	45
映像がモザイク状になる	●電波状態が悪い場合が考えられます。 ●アンテナは地上デジタル放送に対応していますか？	18 18

故障かな？と思ったら（つづき）

こんなときには…	ここをご確認ください	ページ
字幕が出ない	●字幕の設定が「切」になっていませんか？ ●字幕のある番組を視聴していますか？	72 42
リモコンが動作しない リモコン受光部	●電池は正しい向きで入っていますか？ ●リモコンの電池寿命が考えられます。 ●蛍光灯の強い光がリモコン受光部に当たっていませんか？	17 17 17
電子番組表に表示される番組が少ない	●本機の電源を待機中にしておくと、電子番組表が自動的に取得されます。 ●長時間電源コードやアンテナケーブルをはずしたあとに電源を入れると、電子番組表に表示される番組が少なくなることがあります。	31 31

●本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより、正常に動作しないことがあります。このようなときは一度電源プラグをコンセントから抜き、数分後、再度コンセントに差し込み、電源を入れてご使用ください。

エラーメッセージ

画面に以下のエラーメッセージが表示された場合は、放送を視聴できません。

メッセージ	内　容
受信できません（E202）	• 電波状況が悪いことが考えられます。アンテナケーブルが抜けていませんか？（☞18, 19 ページ）
受信できるチャンネルがありません、アンテナ接続を確認して受信チャンネルスキャンを行ってください	• アンテナが正しく接続されていないまま、初期設定を行ったことが考えられます。アンテナ接続を確認して自動チャンネル設定を行ってください。 （☞64 ページ）
B-CAS カードを正しく挿入してください。	• B-CAS カードが正しく挿入されていないときに表示されます。B-CAS カードを正しく挿入してください。
B-CAS カードの交換が必要です。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ ご連絡ください。 コード : ※※※※	• B-CAS カードの交換が必要なときに表示されます。 • B-CAS カードが壊れたり、異なる IC カードが挿入されているときに表示されます。 • B-CAS カードの交換が必要な場合には、 http://www.b-cas.co.jp/refer.html ㈱ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターにお問い合わせください。
この B-CAS カードは使用できません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ ご連絡ください。 コード : ※※※※	
この B-CAS カードは使用できません。 正しい B-CAS カードを挿入してください。 コード : EC01	
このB-CASカードではご覧になることができません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ ご連絡ください。 コード : EC02	

ソフトウェアのダウンロード

ダウンロードについて

ダウンロード機能とは、本機のソフトウェアを最新の内容に書き換えて、機能の追加や改善を行うためのものです。本機は地上デジタル放送によるソフトウェアの自動ダウンロードに対応していますので、操作や設定を行うことなく常に最新版に更新されたソフトウェアでご使用いただけます。

■ 自動でダウンロードが行われるためには

- あらかじめ本機の電源を入れ、地上デジタル放送を数分間受信する必要があります。
  （本機がダウンロード情報を取得するためです。）
- ダウンロードは電源待機状態（電源ランプ赤点灯）のときだけ行われます。

■ダウンロードが正常に終了すると

- ダウンロード成功のお知らせが届きます。メニューから「お知らせ」を選択して確認します。
  （☞69 ページ）

■ソフトウェアのバージョンを確認するには

- メニューから「その他の設定」を選択して確認します（☞71 ページ）。

お手入れについて

液晶ディスプレイパネルのお手入れのしかた

- お手入れの際は、必ず電源を切って画面をオフにし、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。
- 本機のディスプレイパネル表面は、やわらかい布（綿、ネル等）で軽く乾拭きしてください。
  硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、パネルの表面にキズがつきますのでご注意ください。
- 汚れがひどい場合は、やわらかい布を軽く水で薄めた中性洗剤に湿らせ、そっと拭いてください。
  （強くこすったりすると、パネルの表面にキズがつくおそれがありますのでご注意ください。）
- パネルの表面にほこりがついた場合は、市販の防塵用ブラシ（静電気除去ブラシ）をお使いください。
- パネルの保護のため、ほこりのついた布や洗剤、化学ぞうきんなどは使わないでください。
  パネルの表面がはく離することがあります。

蛍光管について

本機に使用している蛍光管には寿命があります。
画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、お客様センターへお電話いただくか、
または当社ホームページよりお問い合わせください。

さくいん

英数

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

最新の商品情報やサポート情報は、ホームページにてご覧いただけます。

http://www.uniden.jp/

安全に関するご注意

ご使用の前には取扱説明書を良くお読みの上、正しくお使いください。

- 水、湿気、ホコリ、油煙等の多い場所には設置しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- けがの原因となることがありますので、テレビは転倒防止の処置をしてください。
- テレビよりも小さな台には置かないでください。また、台の耐荷重量についても必ずご確認ください。

取扱説明書は、右記のホームページにてご覧いただけます。 **http://www.uniden.jp/support/manualdl.html**

愛情点検 ご使用のテレビの点検を！

〈熱、湿気、ホコリの影響や、使用度合によっては部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることがあります。〉

このような症状はありませんか

●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
●上下、または左右の映像が欠けて映る。
●映像が時々消えることがある。
●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
●電源スイッチを切っても、音や映像が消えない。
●内部に水や異物が入った。

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜き、必ず<ユニデンダイレクト>お客様センターにご相談ください。

保証書に関するお願い

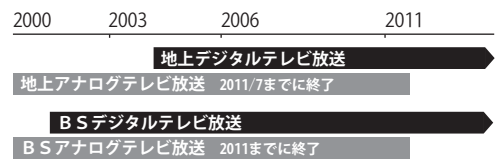
●保証書にはお買い上げ日をご記入の上、大切に保管してください。
●保証期間・保証規定については保証書の内容をよくご確認ください。保証期間中でも有償修理になる場合があります。
●補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。

注意事項

●地上デジタル放送を受信するためには対応したUHFアンテナが必要です。
設置および接続が正しく行われていた場合でも、周辺に電波障害の原因となる高層建造物が建っていたり、電波が弱い場合などは受信ができなかったり、特定の放送局しか受信できないなどの障害が発生することがあります。電器店やアンテナ設置業者等にご相談の上、最良の電波状態となるようアンテナを設置してください。
●CATVの受信は、サービスが行われている地域でのみ受信が可能です。また、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要になります。
なお、有料放送や地上・BS・110度CSデジタル放送をご覧になるときは、ホームターミナル（セットトップボックス）が必要です。
地上デジタル放送がパススルー方式で送信されている場合は、本機のアンテナ端子に接続して受信することもできます。詳しくはCATV会社にご相談ください。
●マンションなど集合住宅での共同受信の場合、詳しくは管理組合または管理会社等にご確認ください。
●本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。
●液晶テレビは、「ジー」という表示パネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
●液晶テレビは、微細な画素の集合で表示しています。ごく一部に画素が光らなかったり、常時点灯する画素などがあることがありますので、あらかじめご了承ください。
●本機は、各種の画面サイズ切換機能を備えています。
テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。
●本機を営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面モード切換機能（ズームモード）などを利用して画面の圧縮、引き伸ばし等を行いますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
●ライフルタイプやガン（銃）タイプ のコントローラーを使用するシューティングゲームなどは、構造上本機では使用できないことがあります。
また、ゲームによっては動きの早いシーンにおいて反応が遅れることがあります。詳しくはゲームおよびコントローラーの取扱説明書をご覧ください。
●赤外線コードレスマイクやコードレスヘッドホンなどの赤外線通信機器と同時にご使用になられる場合は、これらの機器にノイズ等の障害を与えることがあります。
●テレビの配置状況によっては近隣のAMラジオ等にノイズ等の影響を与える場合があります。
●HDMIは新しいインターフェースです。そのため、接続する機器によってはつながりにくかったり、電源の入切が必要になる場合があります。
HDMI、HDMIロゴ、及びHigh-Definition Multimedia Interface は、HDMILicensingLLCの商標、又は登録商標です。
●接続する機器の詳しい使用方法や接続については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
●国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。
●本書は印刷物ですので実際の製品の色とは異なる場合があります。
●本機はARIB（電波産業会）規格に基づいた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
●商品の仕様およびデザインは改善等のため予告なく変更する場合があります。
●お客様から弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確な対応のため、通話内容を記録・録音させていただくことがあります。
●ユニデン株式会社およびその関連会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や配送・修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。

デジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信エリアは、順次拡大される予定です。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログ放送は2011年7月までに、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の法令によって定められています。

2000 2003 2006 2011
地上デジタルテレビ放送
地上アナログテレビ放送 2011/7までに終了
ＢＳデジタルテレビ放送
ＢＳアナログテレビ放送 2011までに終了

<ユニデンダイレクト>お客様センター

当社製品のご注文・お取り扱い方法など、ご不明な点は下記にご相談ください。

●商品のご注文 **0120-012-123**　●サポートダイヤル **0120-20-20-70**

<ユニデンダイレクト>ホームページ **http://www.uniden-direct.jp/**

TL19CX2 取扱説明書

発 行 日： 2008年12月 第2版
ユニデン株式会社
〒104-8512 東京都中央区八丁堀 2-12-7
http://www.uniden.co.jp/